

2024 年度 卒業生へのアンケート調査結果

キャリア支援課

【Ⅰ，調査の概要】

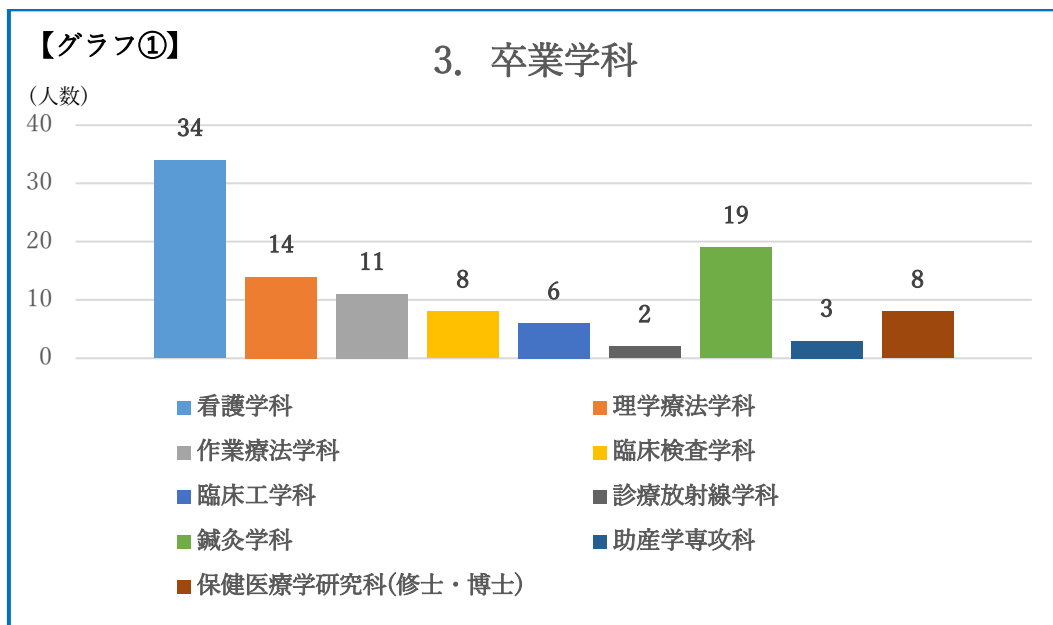
1. 調査対象 2010 年度から 2023 年度までの卒業生 2,736 名
2. 調査期間および方法
2024 年 12 月 12 日～2025 年 1 月 15 日まで。郵送にて調査への協力依頼をした上で、Microsoft のサービスを利用しインターネット上で回答いただいた。
3. 回答者数 105 名

【Ⅱ，結果】

1. 回答者の基本属性

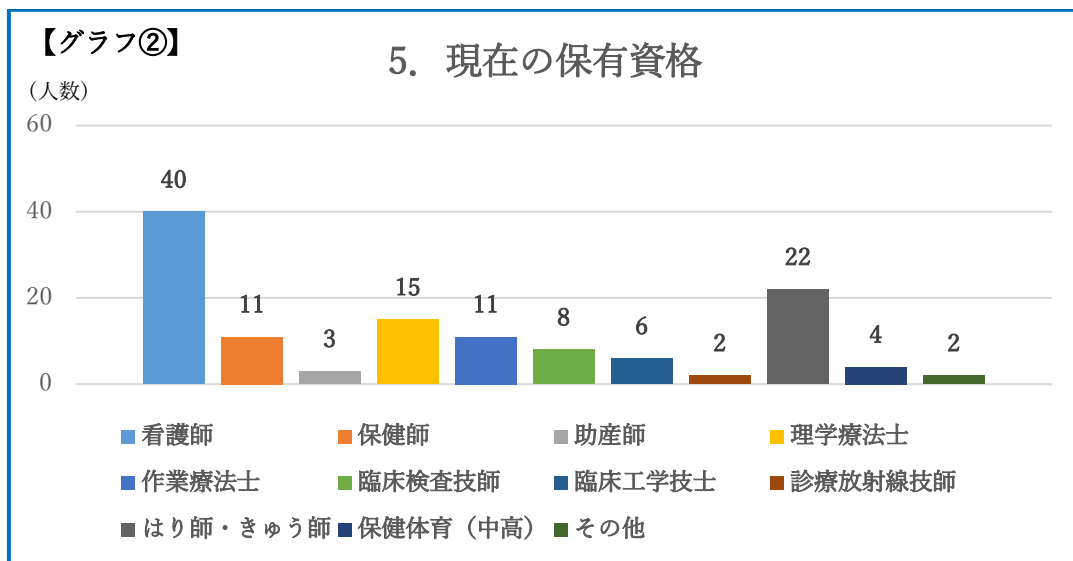
1) 回答者の卒業時の所属学科について

卒業時の所属学科をグラフ①に示した。看護学科卒業生の回答が最も多かった。



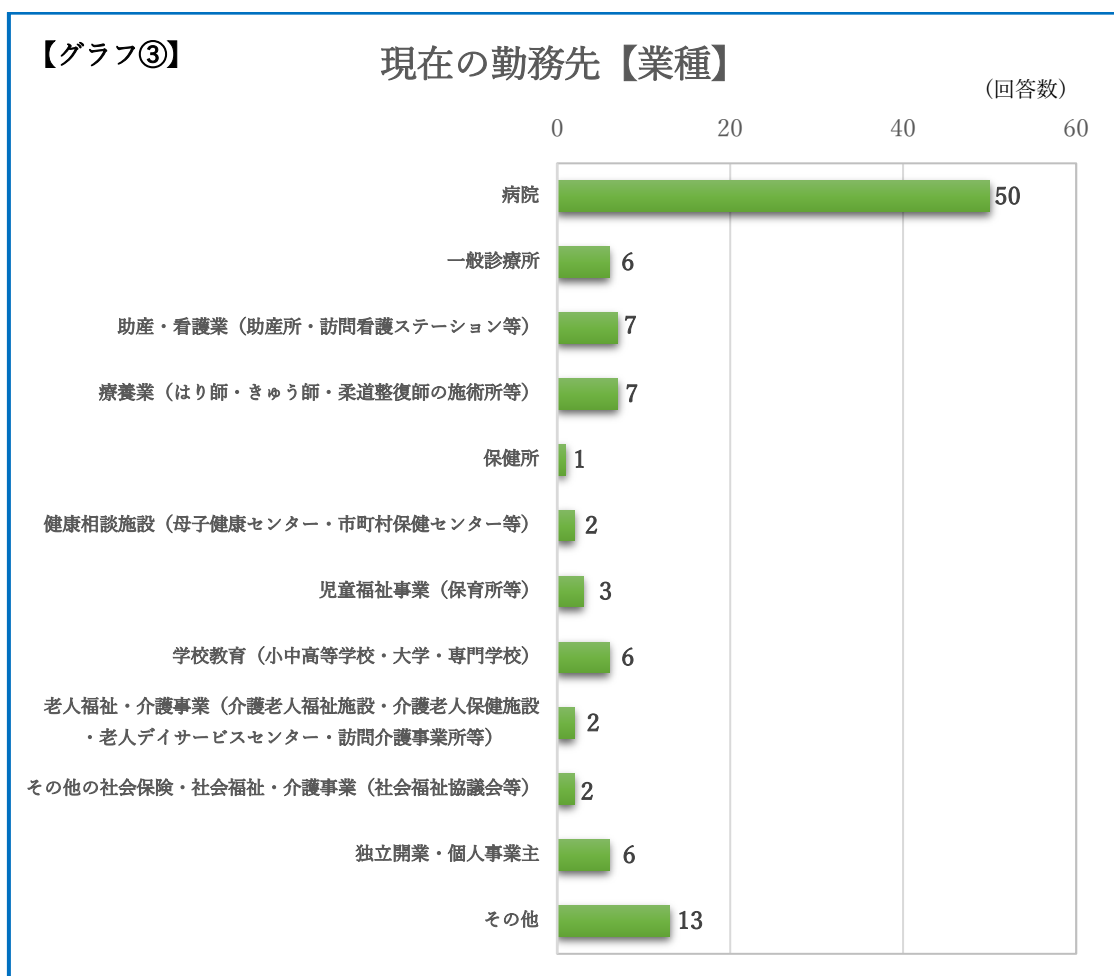
2) 回答者の保有資格について

現在の保有資格をグラフ②に示した。「その他」にはあん摩マッサージ指圧師等の回答があった。



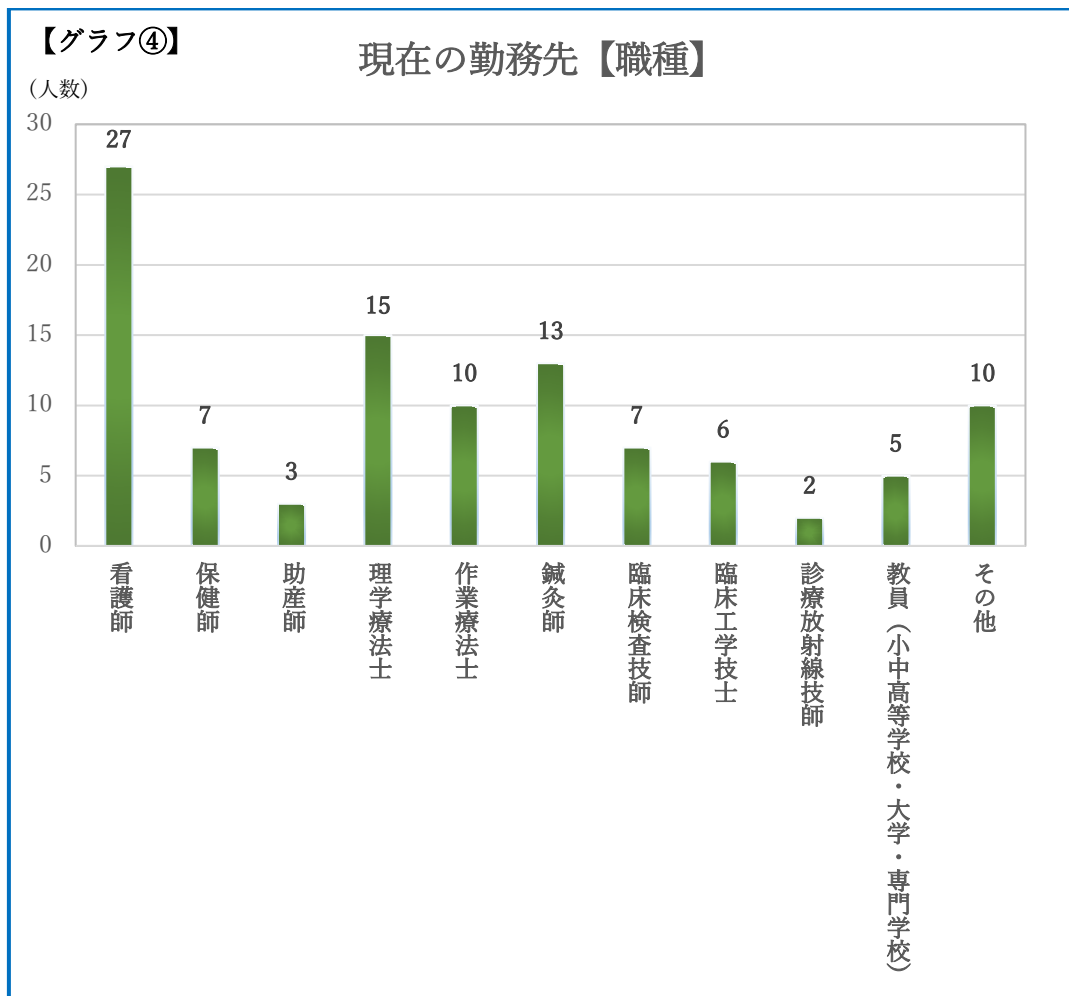
3) 現在の勤務先の業種について

現在の勤務先の業種をグラフ③に示した。病院への就職者が最も多かった。



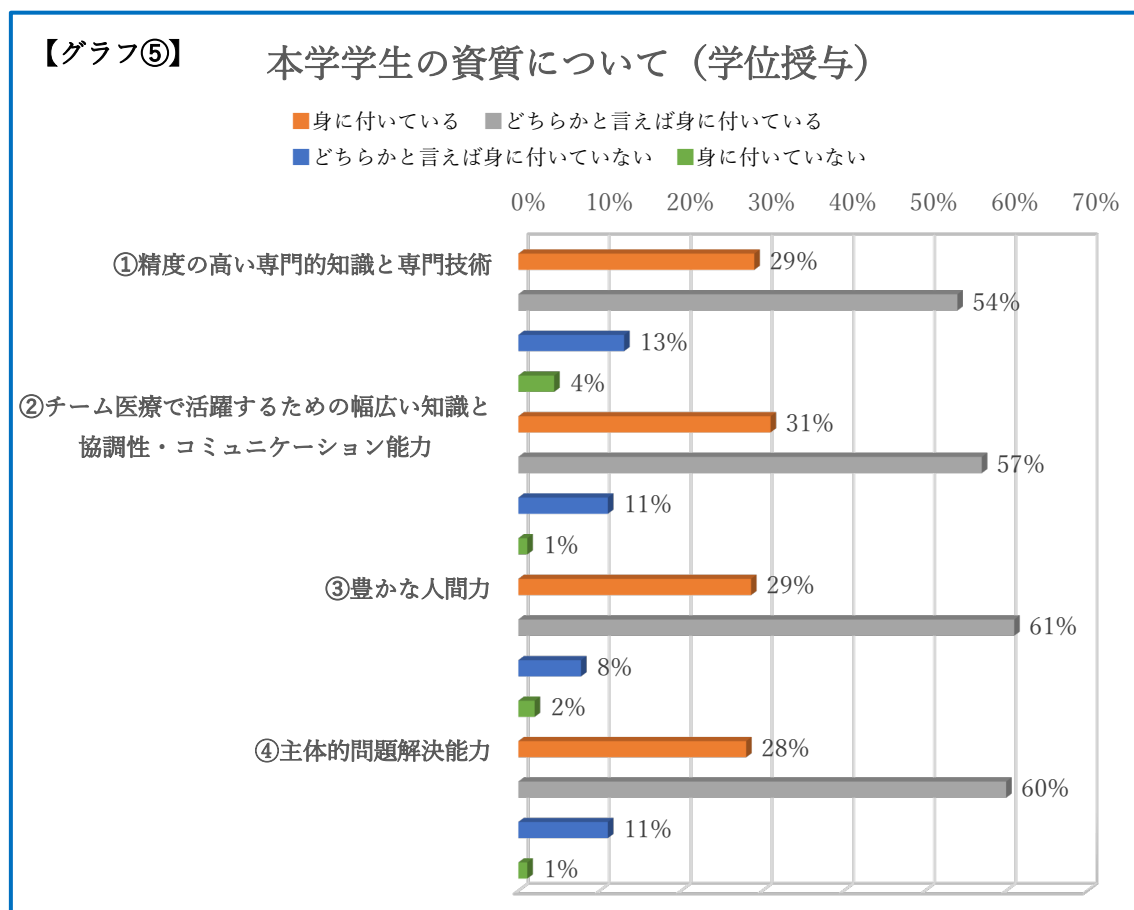
4) 現在の勤務先での職種について

現在の勤務先の職種をグラフ④に示した。「その他」には品質保証、機能訓練指導員等の回答があった。



2. 本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について

本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について、グラフ⑤に示した。



4つの項目の中で、「チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力」「豊かな人間力」「主体的問題解決能力」については全体の88%以上が「身に付いている」もしくは「どちらかと言えば身に付いている」と回答した。

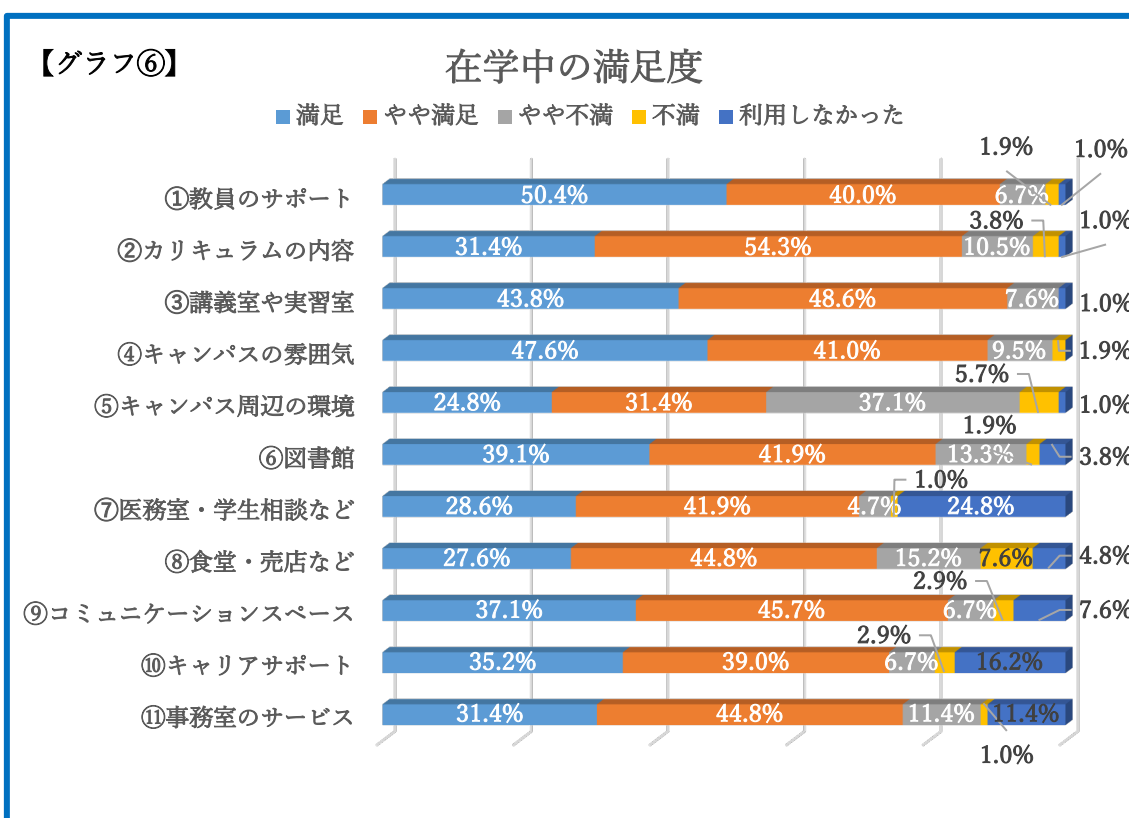
一方で、「精度の高い専門的知識と専門技術」については、全体の17%が「身に付いていない」もしくは「どちらかと言えば身に付いていない」と回答しており、大学としての学生への支援課題が示された。

3. 大学生活について

1) 在学中の施設・サポート等の満足度について

在学中の施設やサポート体制の満足度をグラフ⑥に示した。

講義室や実習室に対して、「満足」もしくは「やや満足」の回答が約 92%であったのに対し、キャンパス周辺の環境については約 43%の卒業生が何かしら不満に感じていたことが分かる。

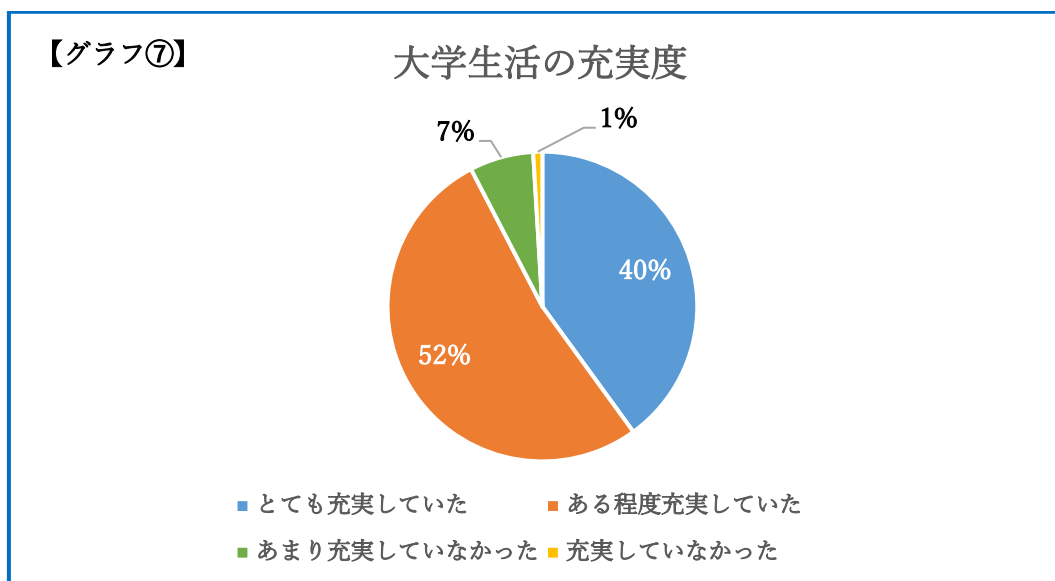


2) 大学生活の充実度について

大学生活の全体の充実度をグラフ⑦に示した。

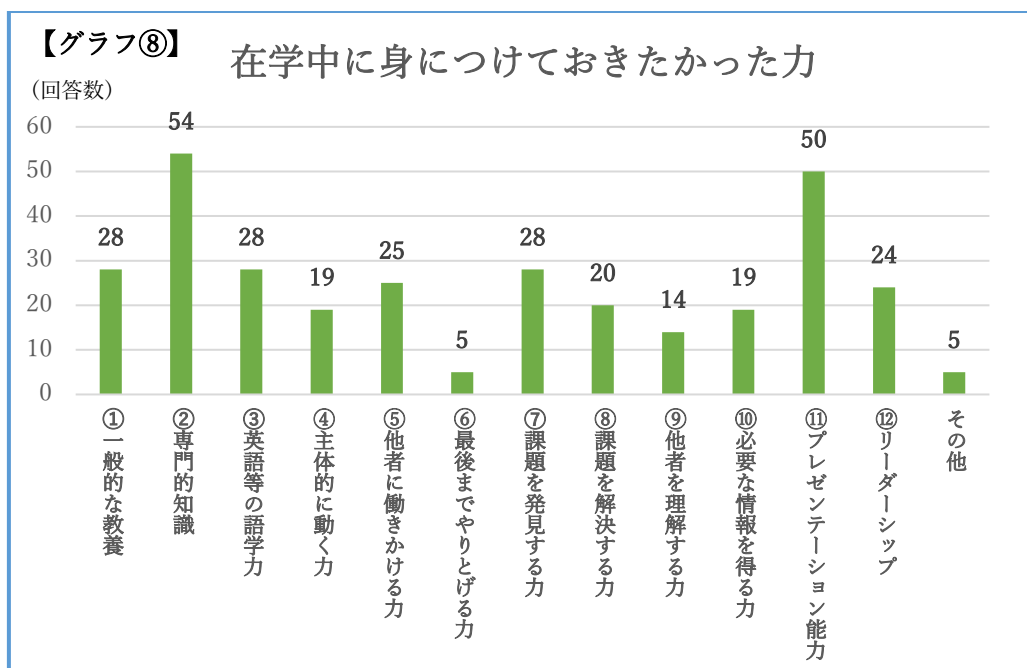
「とても充実していた」もしくは「ある程度充実していた」の割合が約 92%であった。

「あまり充実していなかった」と回答した卒業生の意見では、「人間関係で悩みを持っていた」等があった。



3) 在学中に身につけておきたかった力について

在学中に身につけておきたかった力をグラフ⑧に示した。(複数回答：1人5つまで)
 昨年に引き続き「専門的な知識」が最も多く、次点では「プレゼンテーション力」が挙げられた。また「その他」では、「語彙力」や「先端技術に関する知見」等の回答があった。

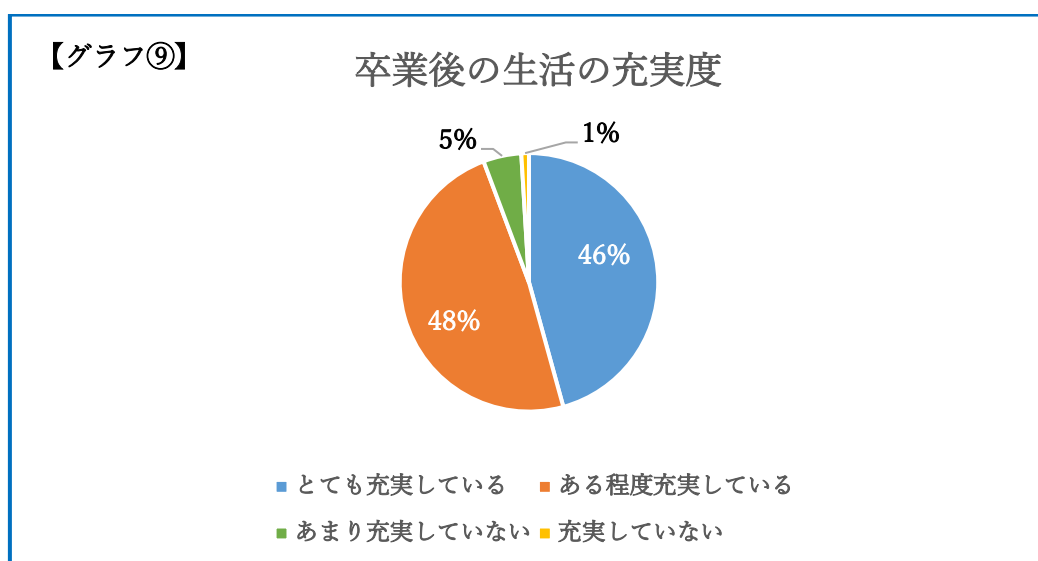


4. 卒業後について

1) 卒業後の生活の充実度について

卒業後の生活充実度をグラフ⑨に示した。

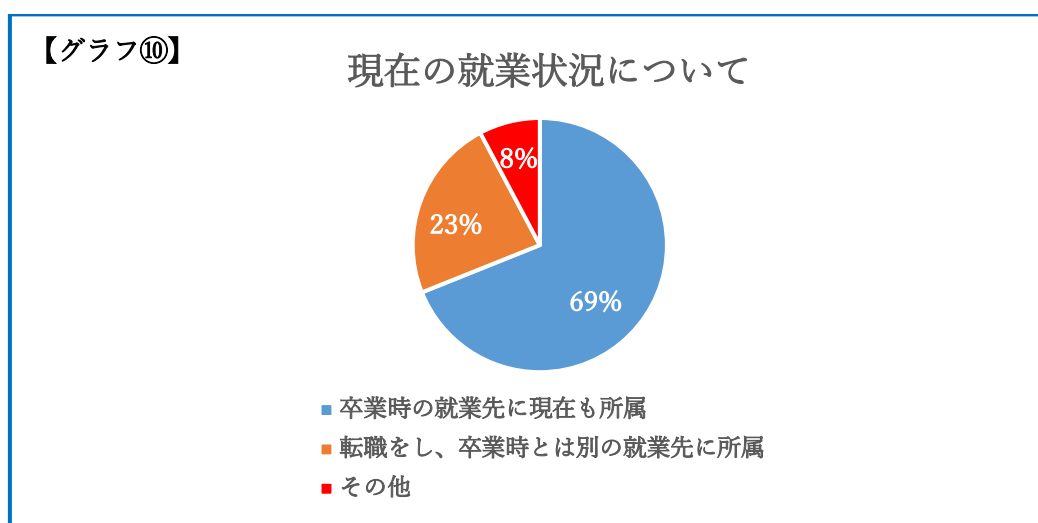
「とても充実している」もしくは「ある程度充実している」の割合が約94%であった。
「あまり充実していない」と回答した卒業生の意見では、「仕事に追われ、ワークライフバランスがうまく保てていないため」等があった。



2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況をグラフ⑩に示した。

卒業後と同じ就業先に在籍している卒業生が全体の約69%を占める結果となった。
その他では、「独立開業」や「自営業」との回答があった。

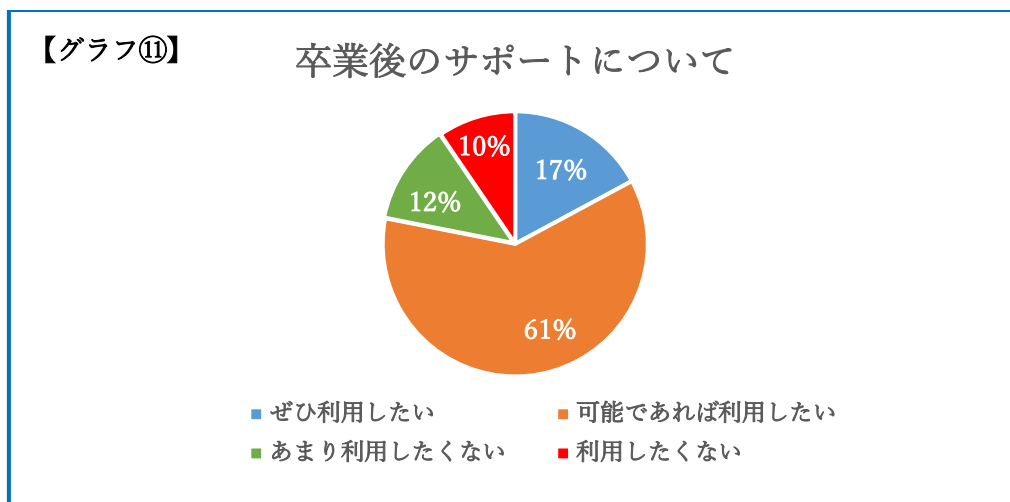


3) 卒業後のサポートについて

卒業後に本学の卒業生向けサポートの利用希望をグラフ⑪に示した。

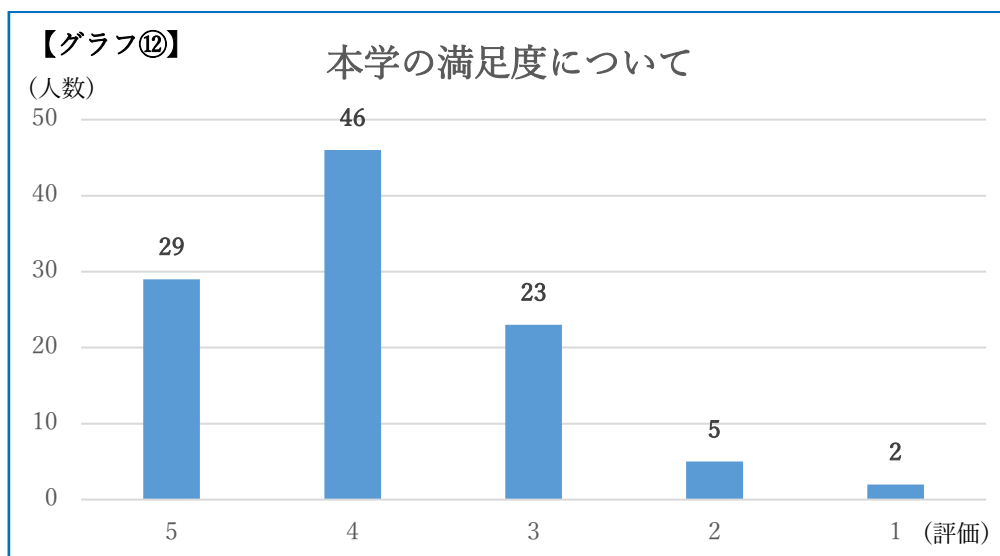
全回答者の 78%が「ぜひ利用したい」・「可能であれば利用したい」と回答した。

実施してほしい内容として「専門的な講習会」や「最新技術に関する講義」、「卒業生同志の情報交換会」、「卒業生と教授の交流会」、「保険請求の制度利用に関する講習会」等の意見があった。



4) 本学の満足度について

卒業後の本学の満足度をグラフ⑫に示した。(満足を 5、不満を 1 とした 5 段階評価)
集計した結果、平均値は 3.9 であった。



以上

2023 年度 卒業生へのアンケート調査結果

キャリア支援課

【Ⅰ，調査の概要】

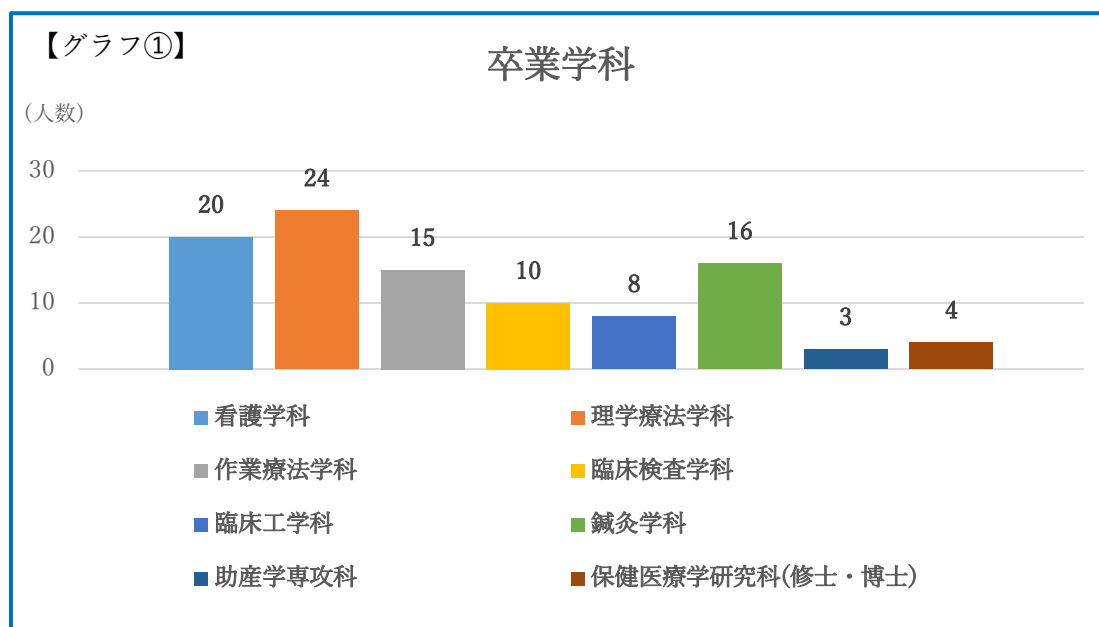
1. 調査対象 2010 年度から 2022 年度までの卒業生 2,465 名
2. 調査期間および方法
2023 年 12 月 11 日～2024 年 1 月 15 日まで。郵送にて調査への協力依頼をした上で、Microsoft のサービスを利用しインターネット上で回答いただいた。
3. 回答者数 100 名

【Ⅱ，結果】

1. 回答者の基本属性

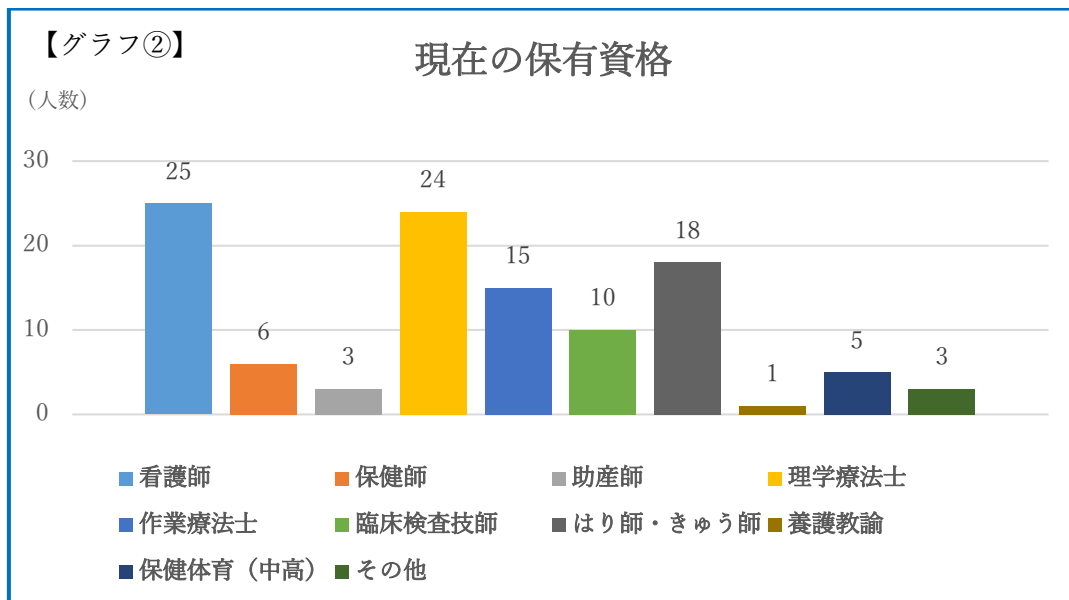
1) 回答者の卒業時の所属学科について

卒業時の所属学科をグラフ①に示した。理学療法学科卒業生の回答が最も多かった。



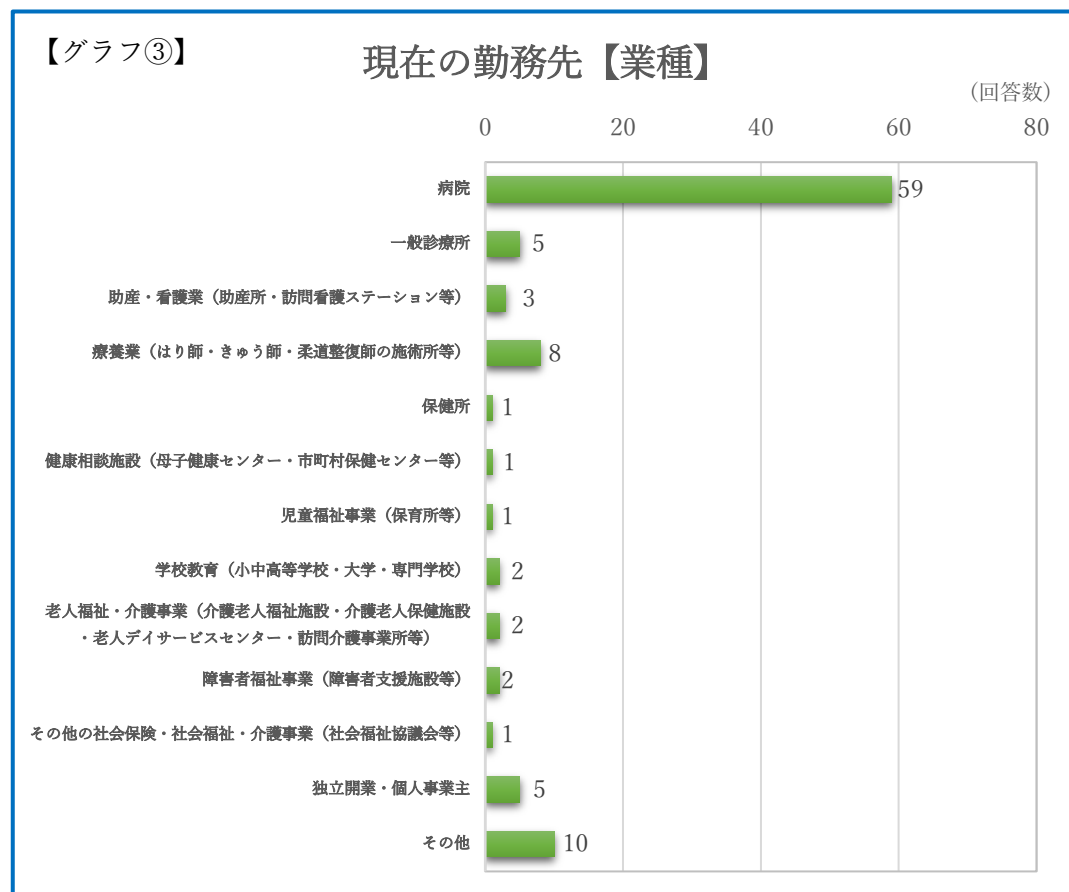
2) 回答者の保有資格について

現在の保有資格をグラフ②に示した。「その他」には柔道整復師、衛生管理者等の回答があった。



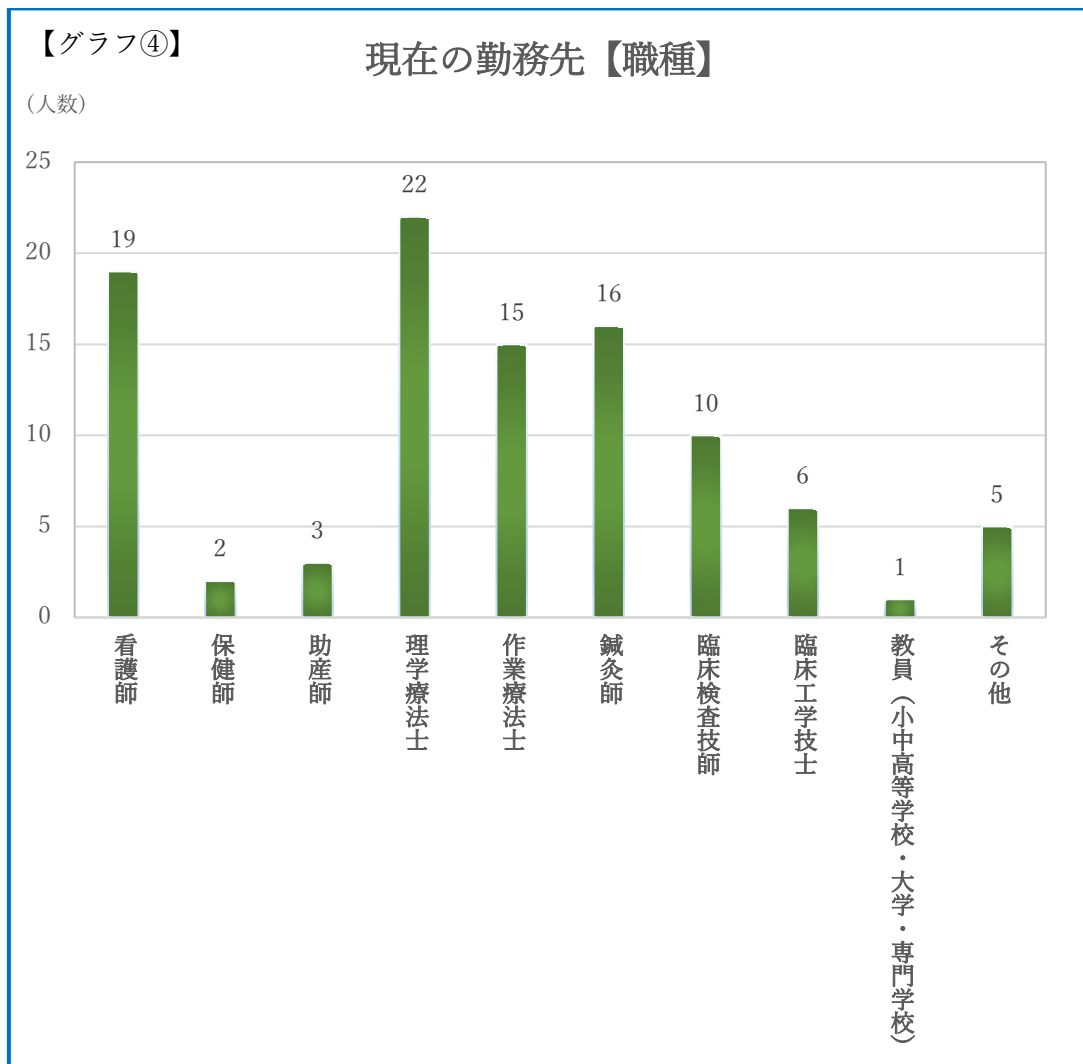
3) 現在の勤務先の業種について

現在の勤務先の業種をグラフ③に示した。病院への就職者が最も多かった。



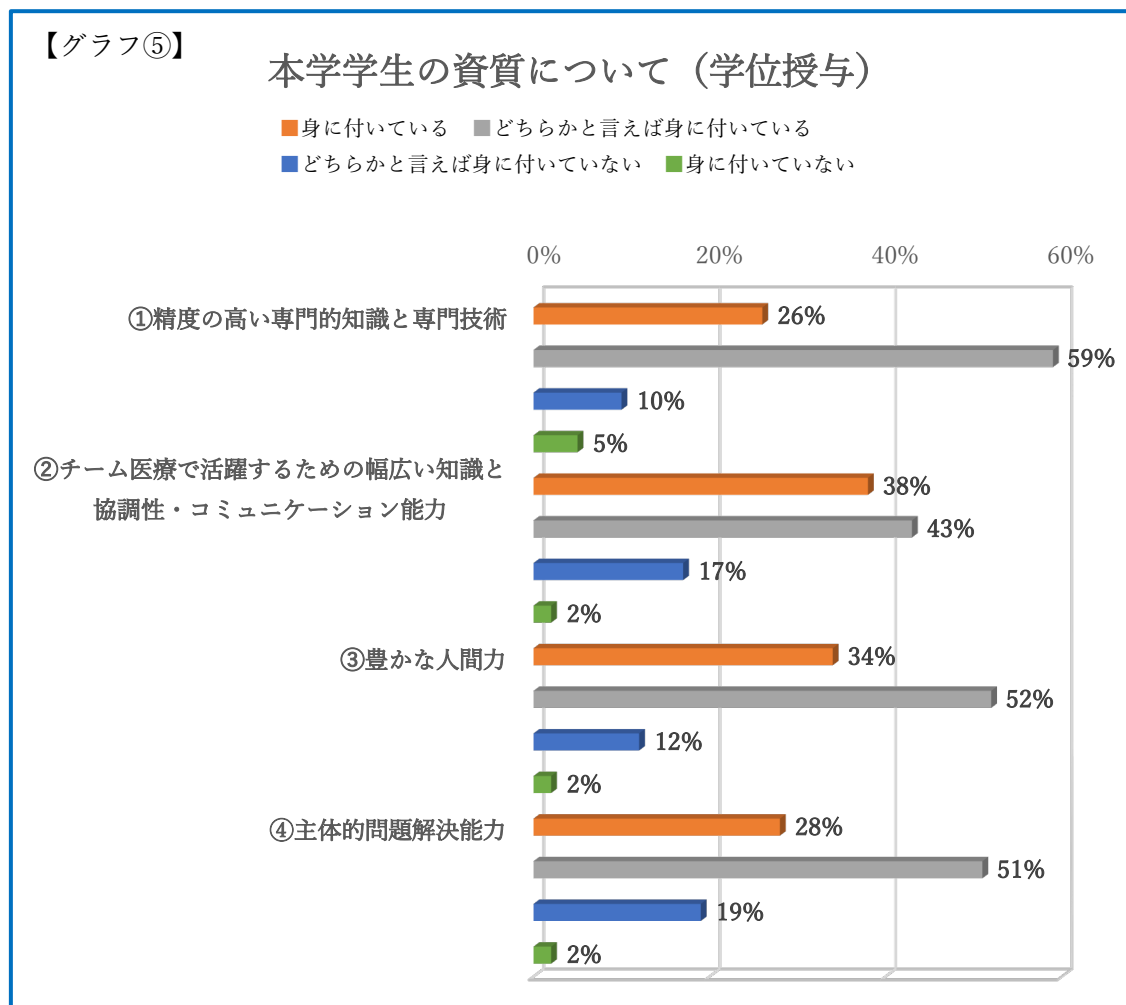
4) 現在の勤務先での職種について

現在の勤務先の職種をグラフ④に示した。「その他」には介護職、会社員等の回答があった。



2. 本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について

本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について、グラフ⑤に示した。



4つの項目の中で、「豊かな人間力」については全体の86%が「身に付いている」もしくは「どちらかと言えば身に付いている」と回答した。

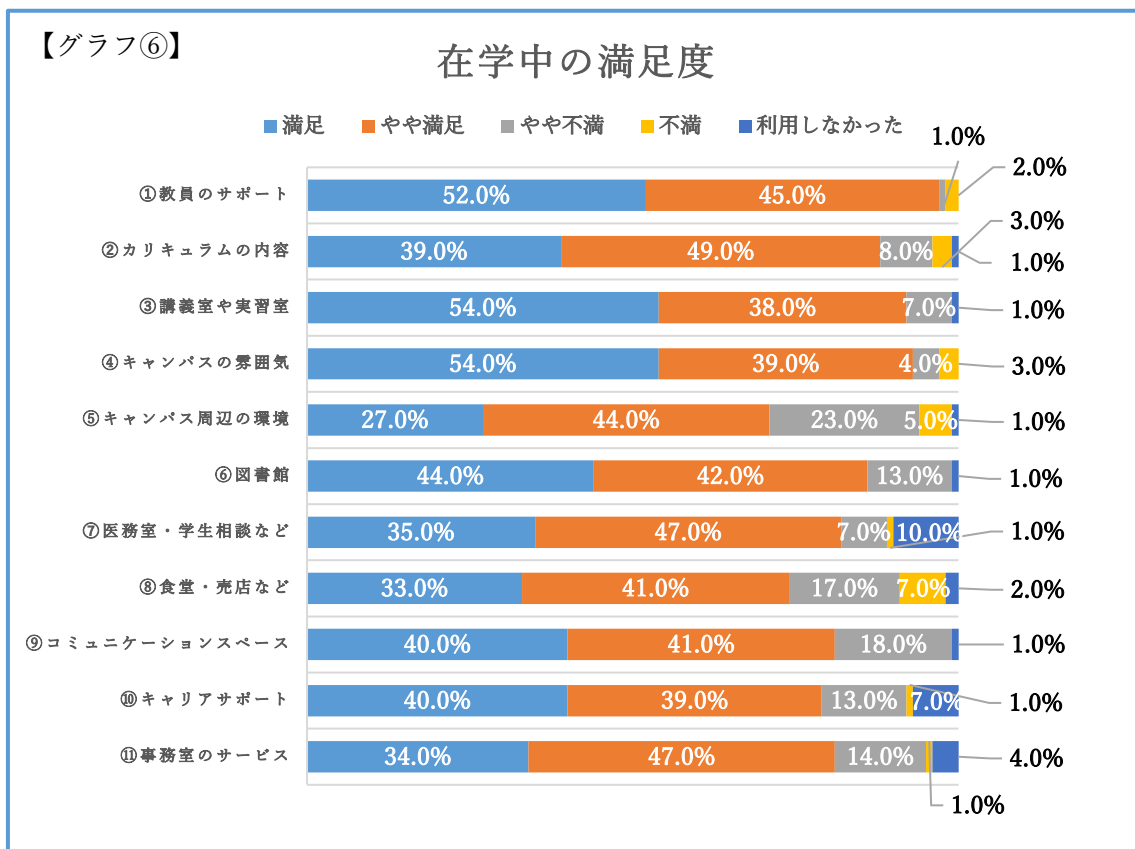
一方で、「主体的問題解決能力」については、全体の21%が「身に付いていない」もしくは「どちらかと言えば身に付いていない」と回答しており、大学としての学生への支援課題が示された。

3. 大学生活について

1) 在学中の施設・サポート等の満足度について

在学中の施設やサポート体制の満足度をグラフ⑥に示した。

教員のサポートに対して、「満足」もしくは「やや満足」の回答が 97%であったのに対し、キャンパス周辺の環境については 29%の卒業生が何かしら不満に感じていたことが分かる。



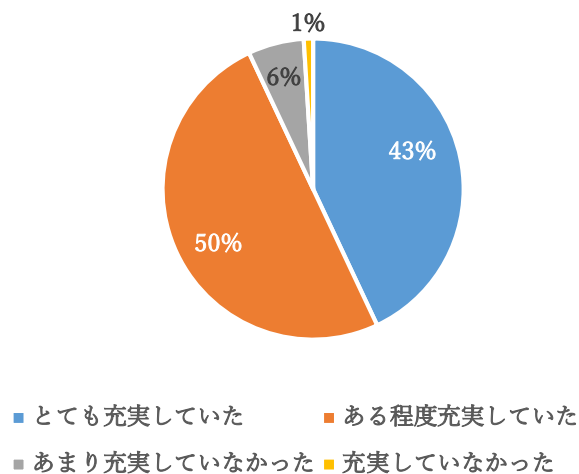
2) 大学生活の充実度について

大学生活の全体の充実度をグラフ⑦に示した。

「とても充実していた」もしくは「ある程度充実していた」の割合が 93%であった。「あまり充実していなかった」「充実していなかった」と回答した卒業生の意見では、「様々なことに対して理解せずに学生生活が過ぎていった」等があった。

【グラフ⑦】

大学生生活の充実度



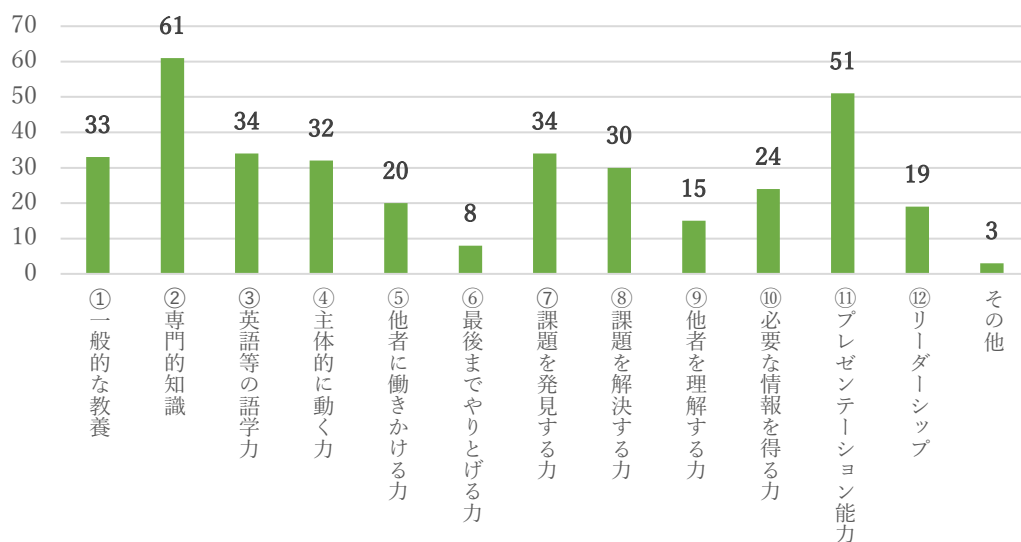
3) 在学中に身につけておきたかった力について

在学中に身につけておきたかった力をグラフ⑧に示した。(複数回答：1人5つまで)
 昨年に引き続き「専門的知識」が最も多く、次点では「プレゼンテーション能力」が挙げられた。また「その他」では、「臨床的な技術や知識」や「介助技術」等の回答があった。

【グラフ⑧】

在学中に身につけておきたかった力

(回答数)

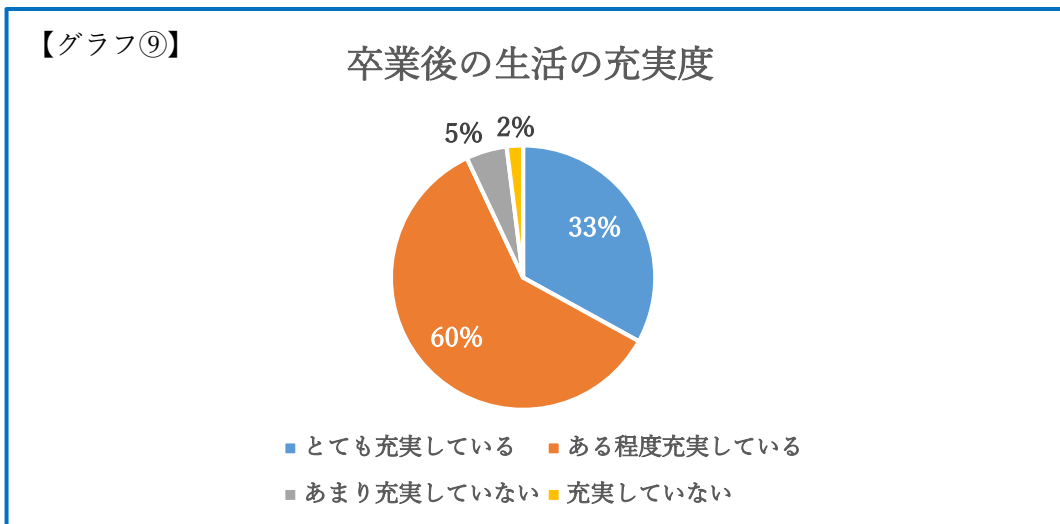


4. 卒業後について

1) 卒業後の生活の充実度について

卒業後の生活充実度をグラフ⑨に示した。

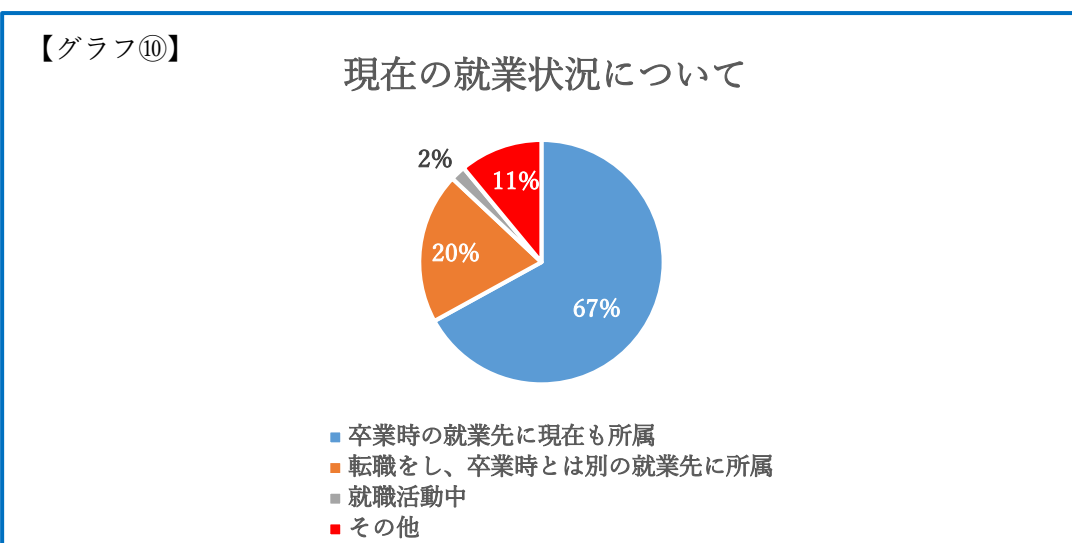
「とても充実している」もしくは「ある程度充実している」の割合が 93%であった。
「あまり充実していない」「充実していない」と回答した卒業生の意見では、「資格を生かした仕事に就けていないため」等があった。



2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況をグラフ⑩に示した。

卒業後と同じ就業先に在籍している卒業生が全体の 67%を占める結果となった。
その他では、「独立開業」等の回答があった。

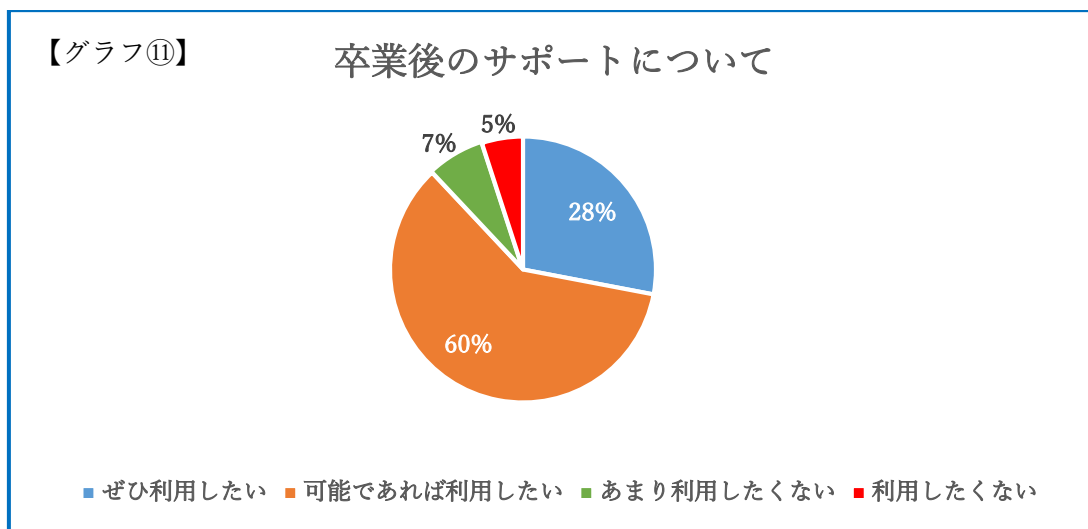


3) 卒業後のサポートについて

卒業後に本学の卒業生向けサポートの利用希望をグラフ⑪に示した。

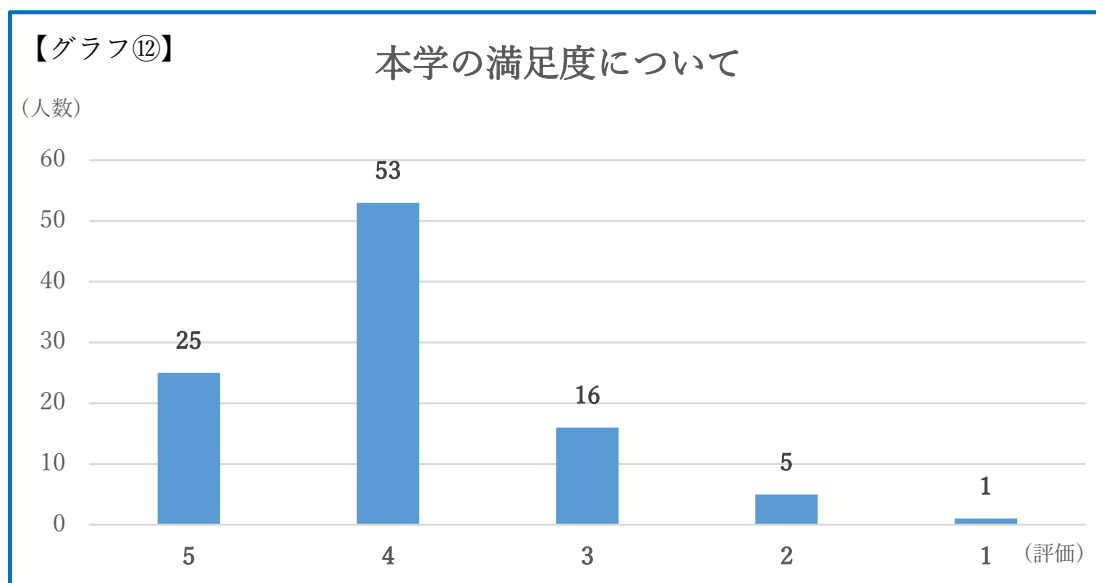
全回答者の 88%が「ぜひ利用したい」「可能であれば利用したい」と回答した。

実施してほしい内容として「在宅でのリハビリアプローチの方法」「生理機能勉強会」「人工呼吸器や挿管介助の演習」等の意見があった。



4) 本学の満足度について

卒業後の本学の満足度をグラフ⑫に示した。(満足を 5、不満を 1 とした 5 段階評価)
集計した結果、平均値は 4.0 であった。



以上

2022 年度 卒業生へのアンケート調査結果

学生支援課

【Ⅰ，調査の概要】

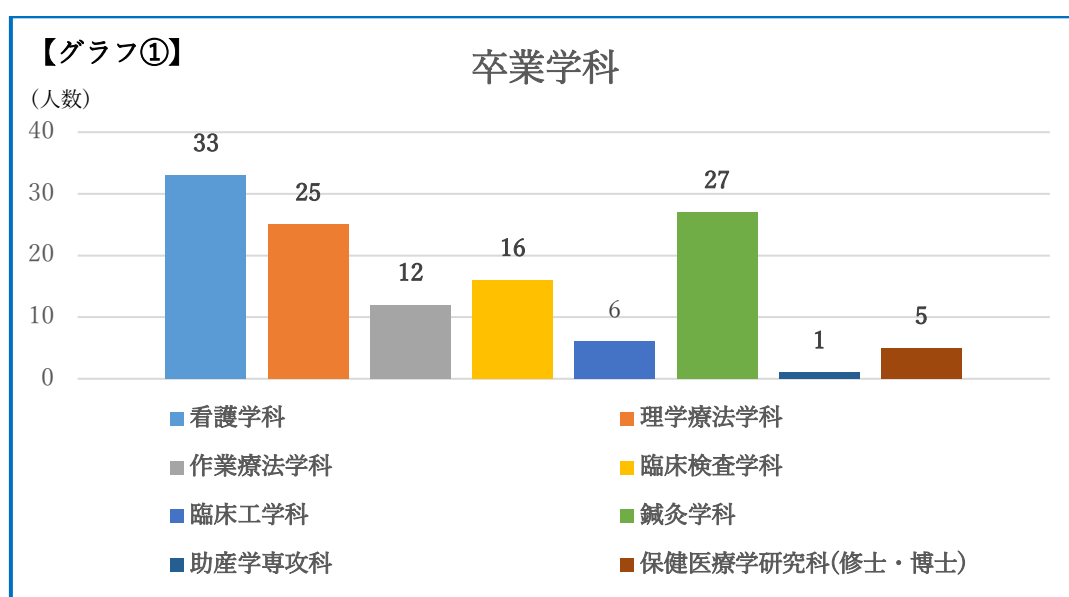
1. 調査対象 2010 年度から 2021 年度までの卒業生 2,108 名
2. 調査期間および方法
2022 年 12 月 13 日～2023 年 1 月 16 日まで。郵送にて調査への協力依頼をした上で、Microsoft のサービスを利用しインターネット上で回答いただいた。
3. 回答者数 123 名

【Ⅱ，結果】

1. 回答者の基本属性

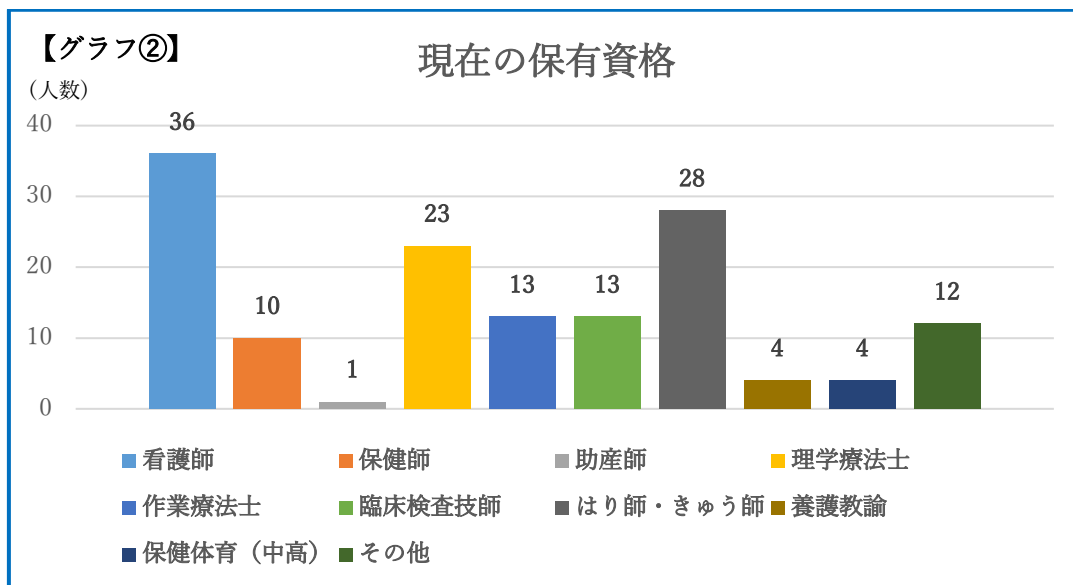
1) 回答者の卒業時の所属学科について

卒業時の所属学科をグラフ①に示した。看護学科卒業生の回答が最も多かった。



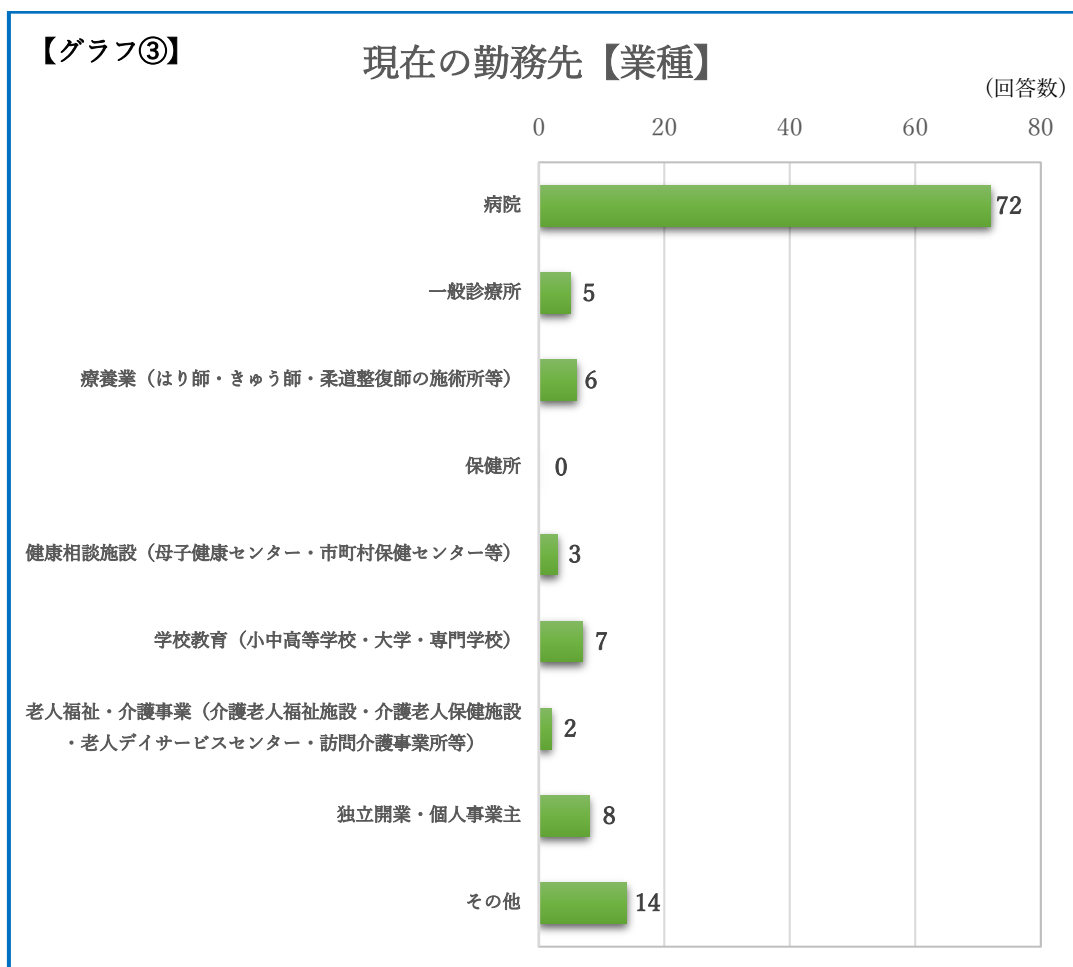
2) 回答者の保有資格について

現在の保有資格をグラフ②に示した。「その他」には医師、歯科医師、第一種衛生管理者等の回答があった。



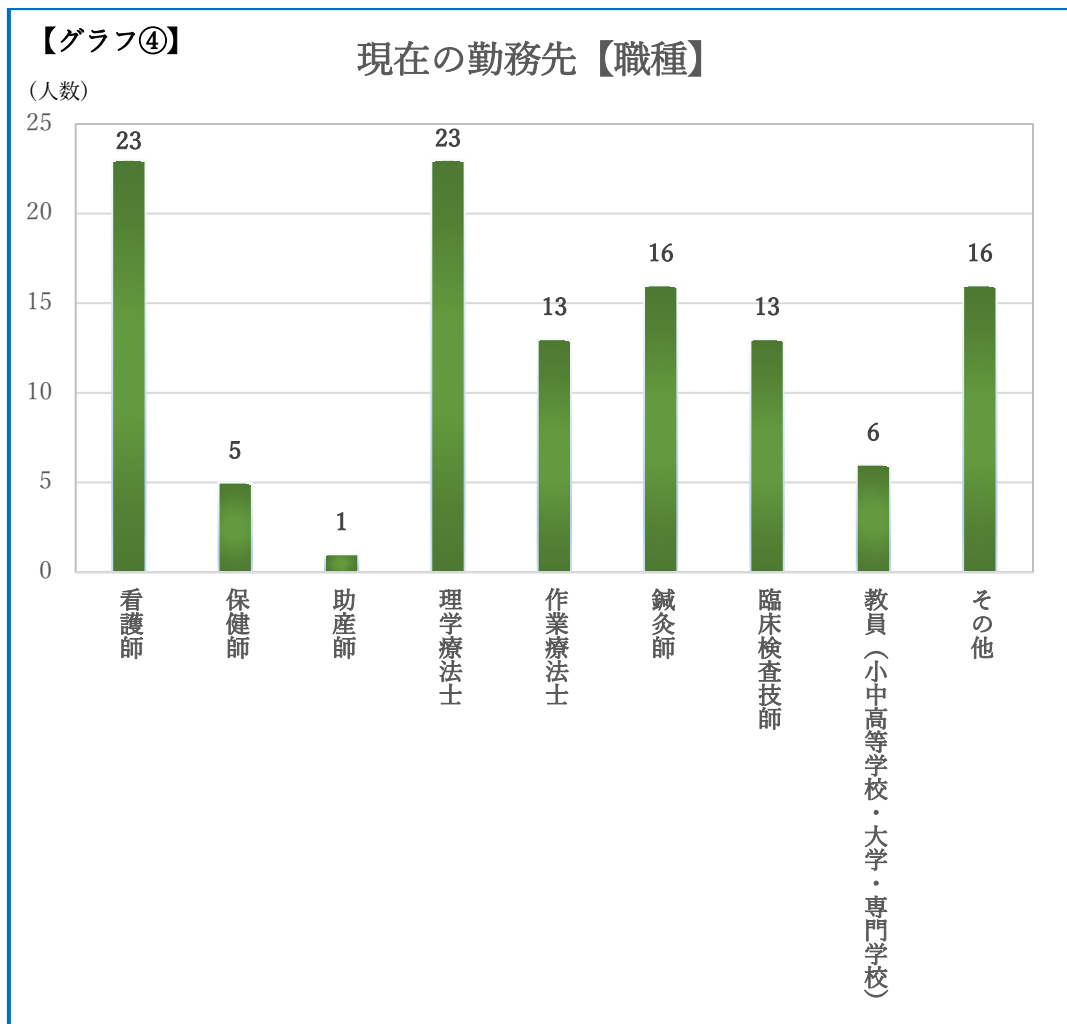
3) 現在の勤務先の業種について

現在の勤務先の業種をグラフ③に示した。病院への就職者が最も多かった。



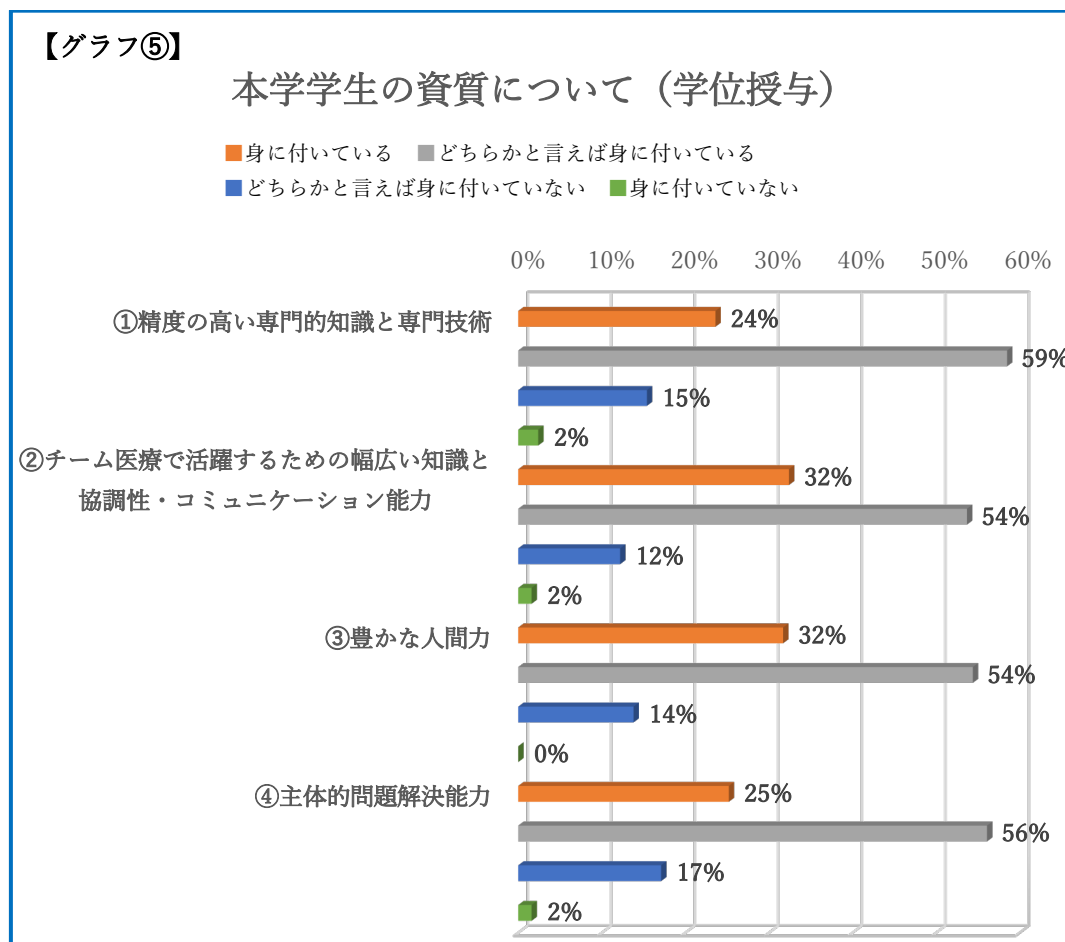
4) 現在の勤務先での職種について

現在の勤務先の職種をグラフ④に示した。「その他」には医師、治験コーディネーター、プロチームのフィジカルコーチ等の回答があった。



2. 本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について

本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について、グラフ⑤に示した。



4つの項目の中で、「チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力」「豊かな人間力」については全体の86%が「身に付いている」もしくは「どちらかと言えば身に付いている」と回答した。

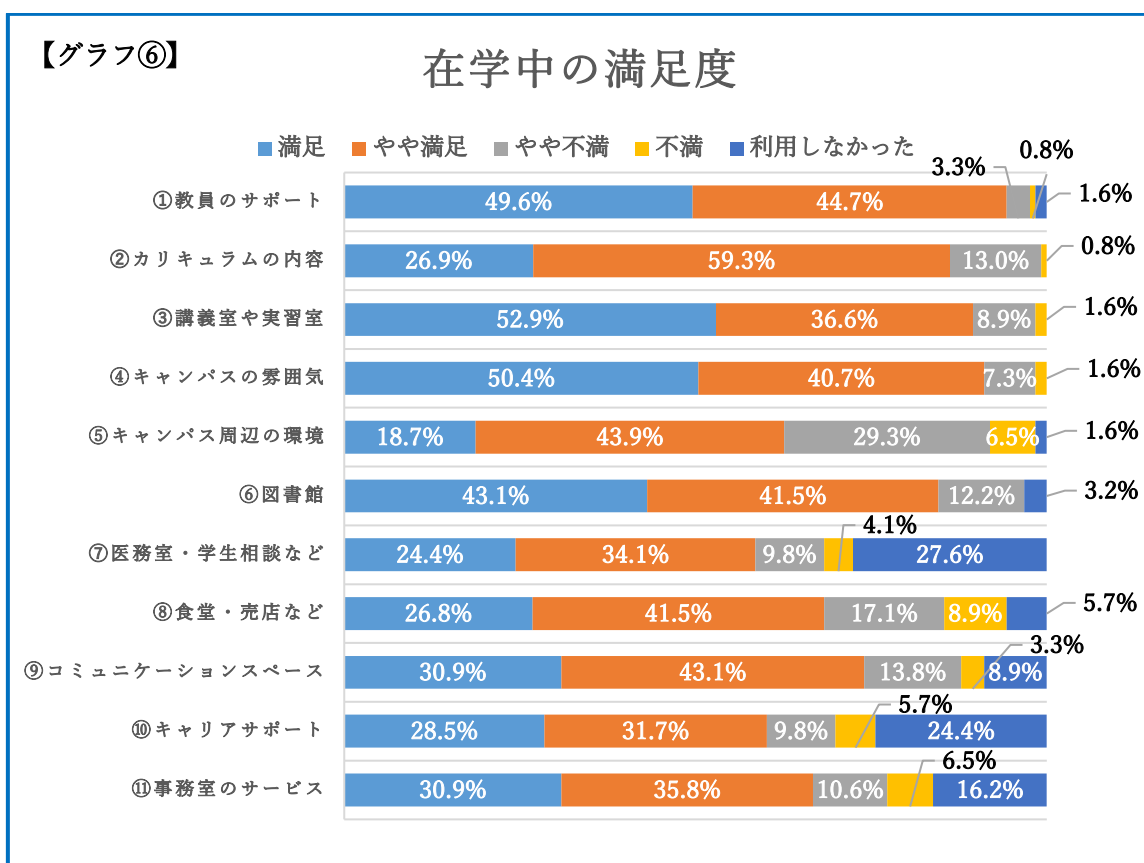
一方で、「主体的問題解決能力」については、全体の19%が「身に付いていない」もしくは「どちらかと言えば身に付いていない」と回答しており、大学としての学生への支援課題が示された。

3. 大学生活について

1) 在学中の施設・サポート等の満足度について

在学中の施設やサポート体制の満足度をグラフ⑥に示した。

教員のサポートに対して、「満足」もしくは「やや満足」の回答が約 94%であったのに対し、キャンパス周辺の環境については約 36%の卒業生が何かしら不満に感じていたことが分かる。



2) 大学生活の充実度について

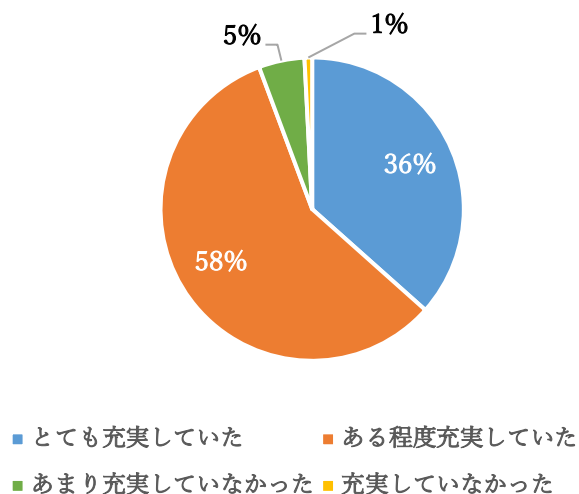
大学生活の全体の充実度をグラフ⑦に示した。

「とても充実していた」もしくは「ある程度充実していた」の割合が約 94%であった。

「あまり充実していなかった」と回答した卒業生の意見では、「質問した際のサポートが不十分だった」等があった。

【グラフ⑦】

大学生活の充実度

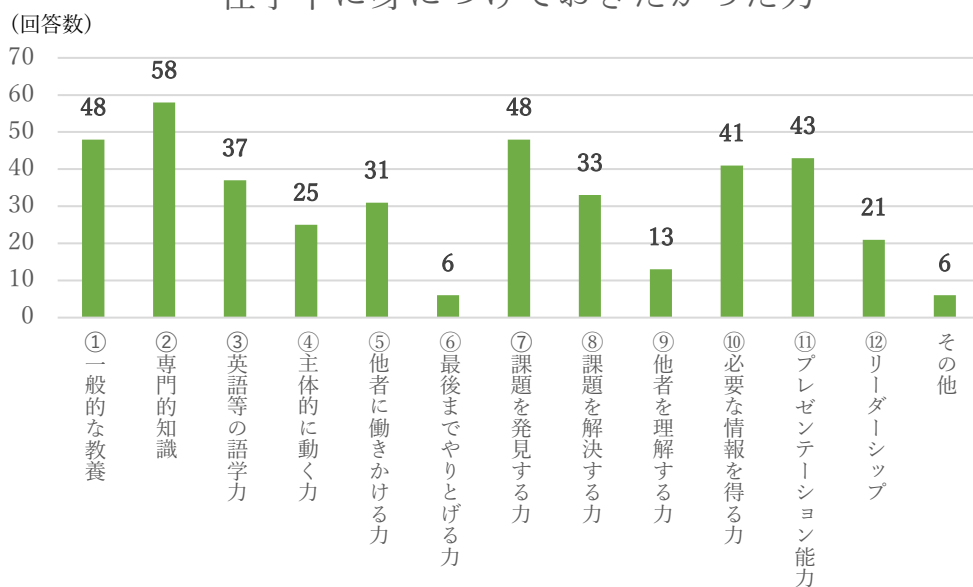


3) 在学中に身につけておきたかった力について

在学中に身につけておきたかった力をグラフ⑧に示した。(複数回答：1人5つまで)
 昨年に引き続き「専門的な知識」が最も多く、次点では「課題を発見する力」が挙げられた。また「その他」では、「客観的な視点」や「メンタルケアに関する能力」等の回答があった。

【グラフ⑧】

在学中に身につけておきたかった力

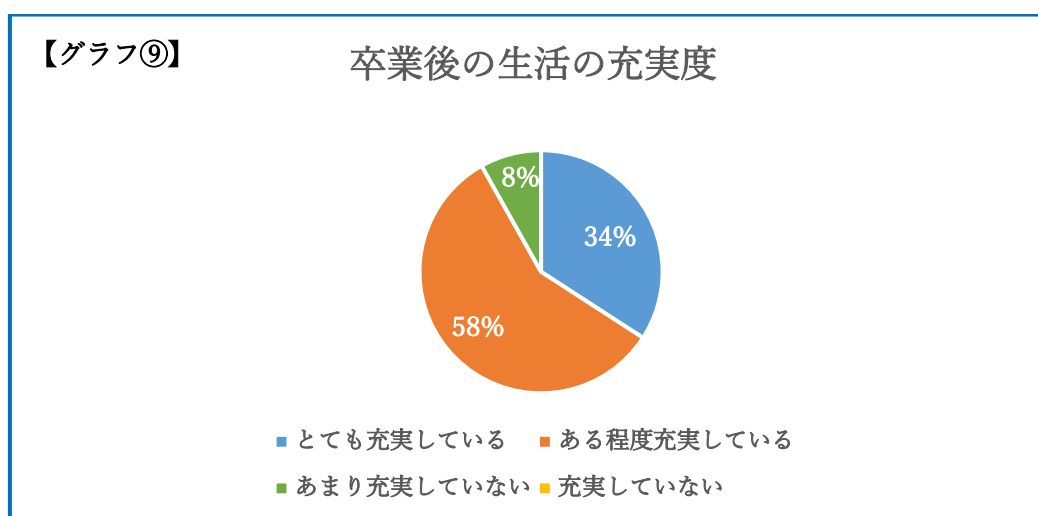


4. 卒業後について

1) 卒業後の生活の充実度について

卒業後の生活充実度をグラフ⑨に示した。

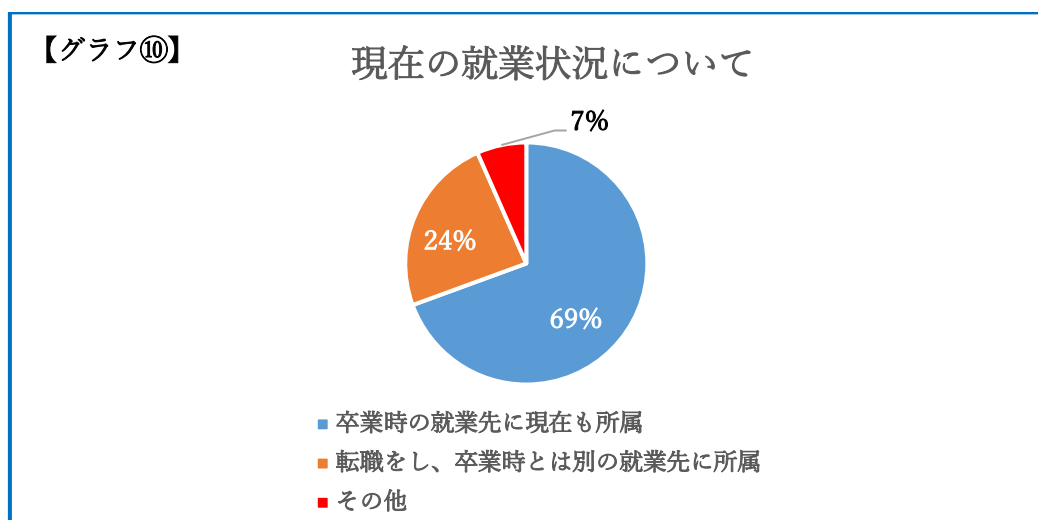
「とても充実している」もしくは「ある程度充実している」の割合が約92%であった。
「あまり充実していない」と回答した卒業生の意見では、「経験を積む段階であるため、業務に疲弊してしまうときがある」や「医療の道を去ったため」等があった。



2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況をグラフ⑩に示した。

卒業後と同じ就業先に在籍している卒業生が全体の約69%を占める結果となった。
その他では、「独立開業」や「自営業」との回答があった。

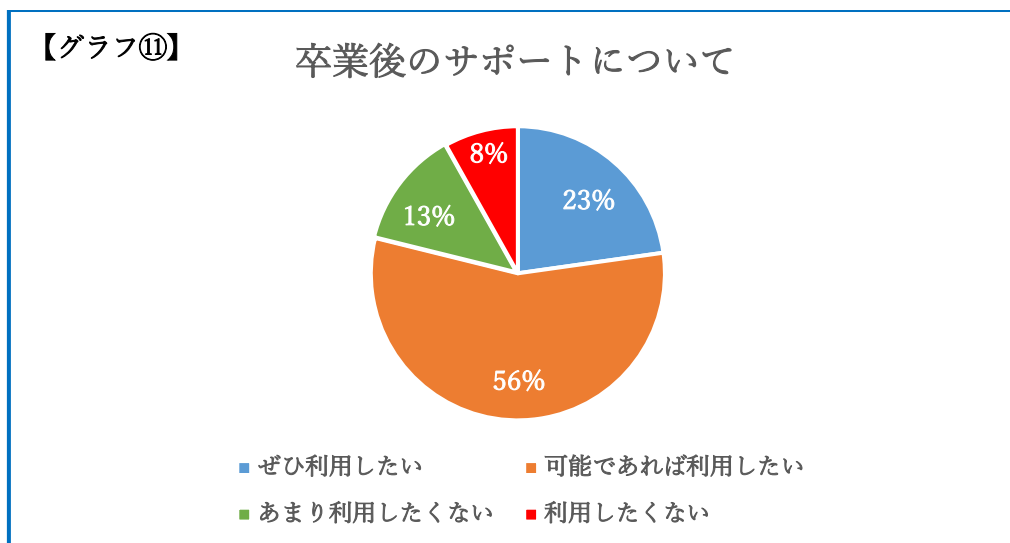


3) 卒業後のサポートについて

卒業後に本学の卒業生向けサポートの利用希望をグラフ⑪に示した。

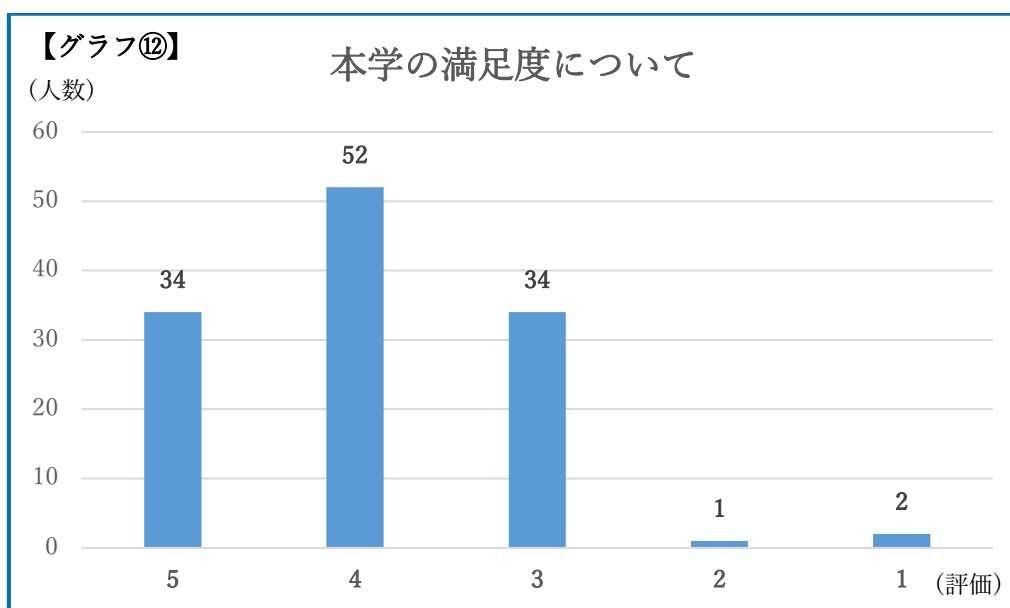
全回答者の 79%が「ぜひ利用したい」・「可能であれば利用したい」と回答した。

実施してほしい内容として「専門的な講習会」や「食育」、「卒業生同志の情報交換会」、「卒業生と教授の交流会」、「キャリアプランの講義」、「確定申告や税金についての講習会」等の意見があった。



4) 本学の満足度について

卒業後の本学の満足度をグラフ⑫に示した。(満足を 5、不満を 1 とした 5 段階評価) 集計した結果、平均値は 3.9 であった。



以上

2021 年度 卒業生へのアンケート調査結果

学生支援課

【Ⅰ，調査の概要】

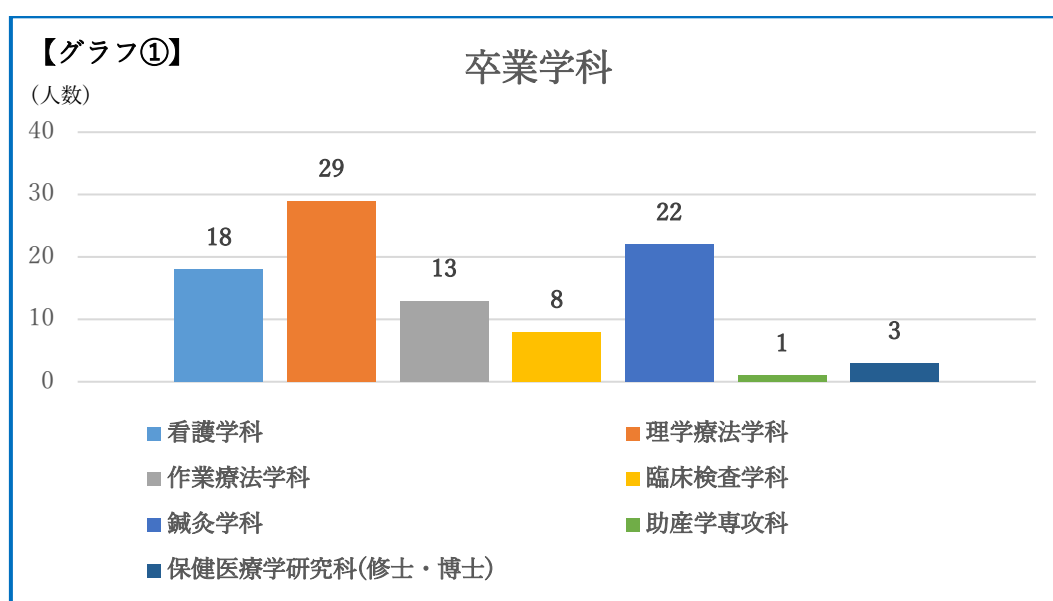
1. 調査対象 2010 年度から 2020 年度までの卒業生 1,806 名
2. 調査期間および方法
2021 年 12 月 13 日～2022 年 1 月 17 日まで。郵送にて調査への協力依頼をした上で、Microsoft のサービスを利用しインターネット上で回答いただいた。
3. 回答者数 94 名

【Ⅱ，結果】

1. 回答者の基本属性

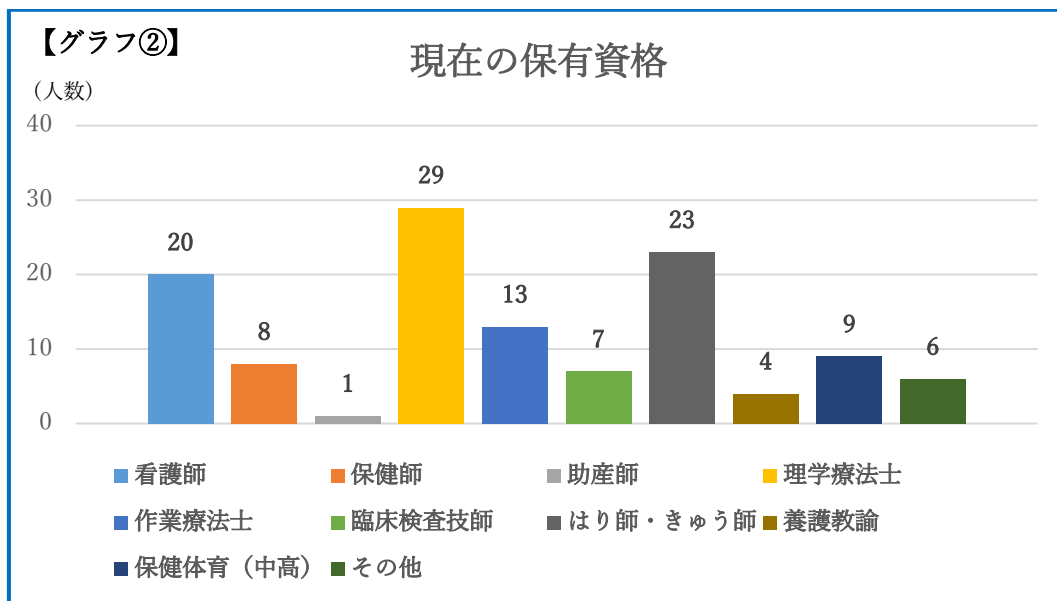
1) 回答者の卒業時の所属学科について

卒業時の所属学科をグラフ①に示した。理学療法学科卒業生の回答が最も多かった。



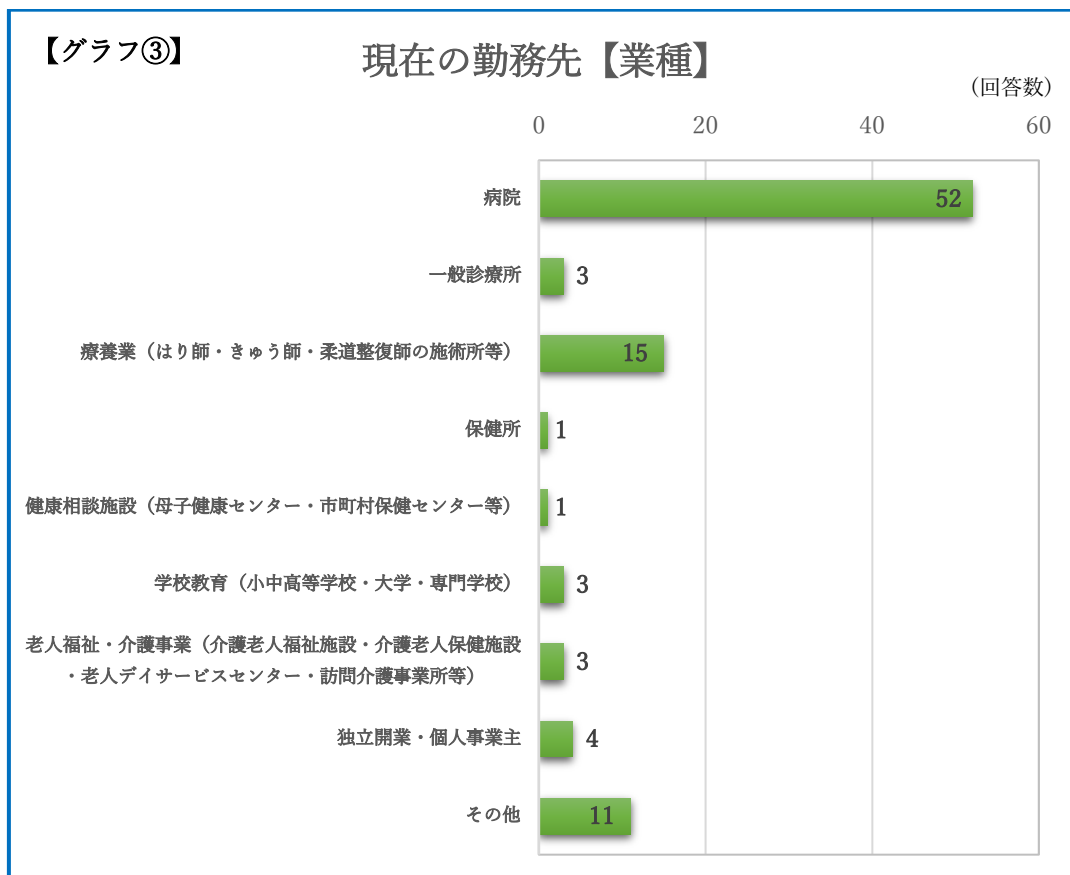
2) 回答者の保有資格について

現在の保有資格をグラフ②に示した。「その他」には福祉用具専門相談員、第一種衛生管理者等の回答があった。



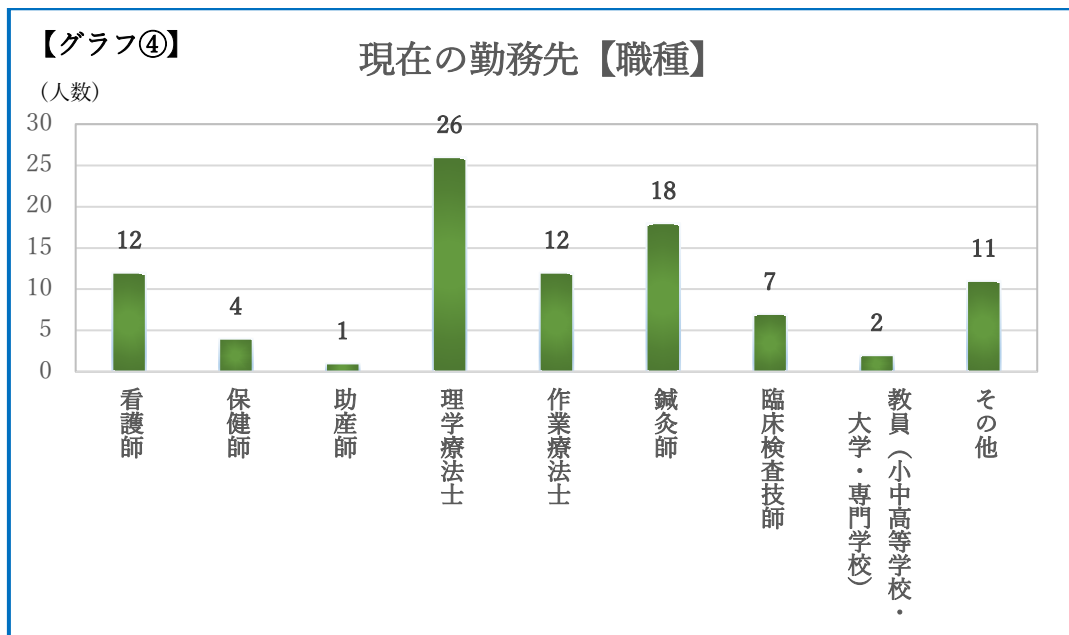
3) 現在の勤務先の業種について

現在の勤務先の業種をグラフ③に示した。病院への就職者が最も多かった。



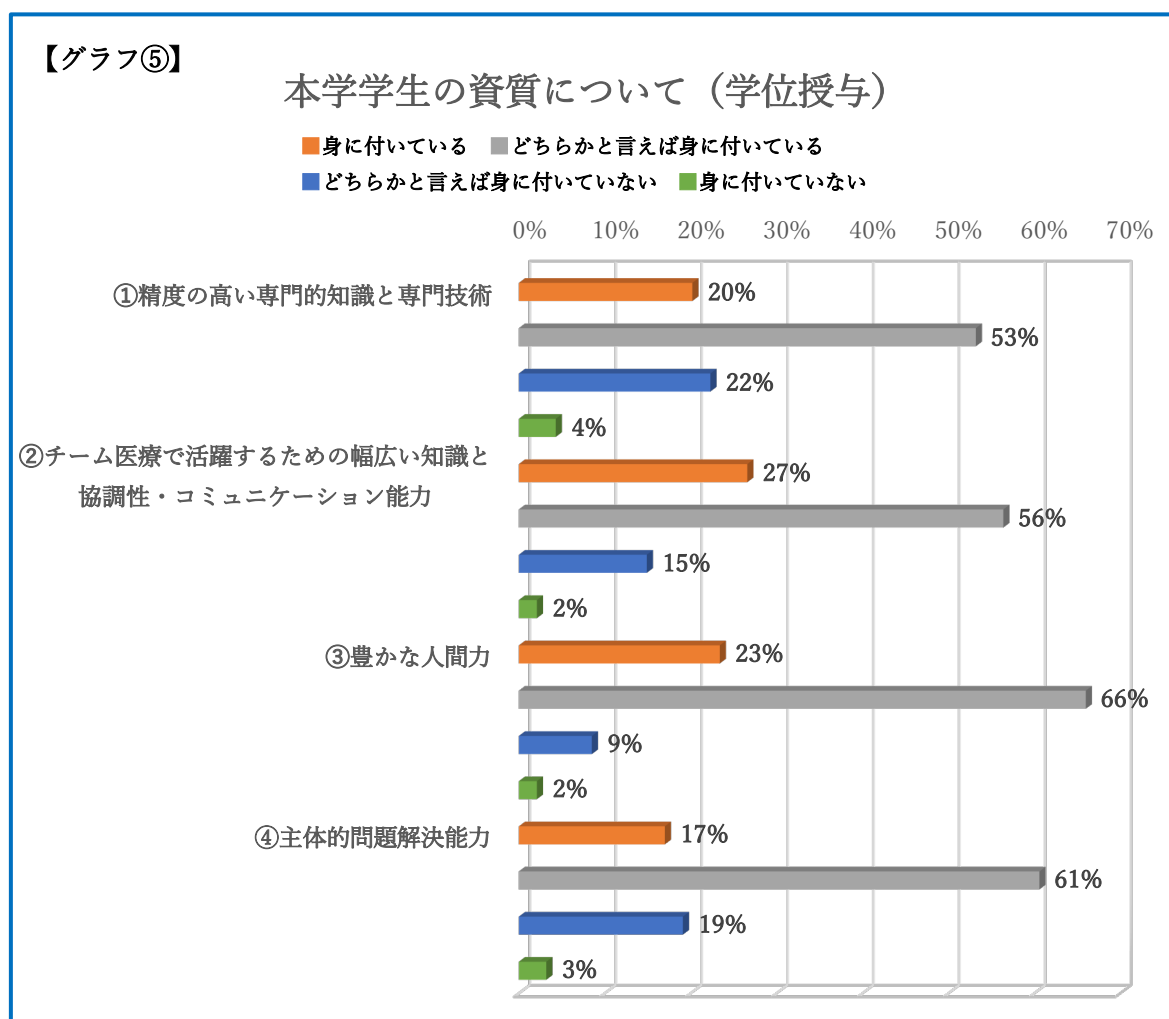
4) 現在の勤務先での職種について

現在の勤務先の職種をグラフ④に示した。「その他」には警察官、治験コーディネーター、医療事務等の回答があった。



2. 本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について

本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について、グラフ⑤に示した。



4つの項目の中で、「豊かな人間力」については全体の89%が「身に付いている」もしくは「どちらかと言えば身に付いている」と回答した。

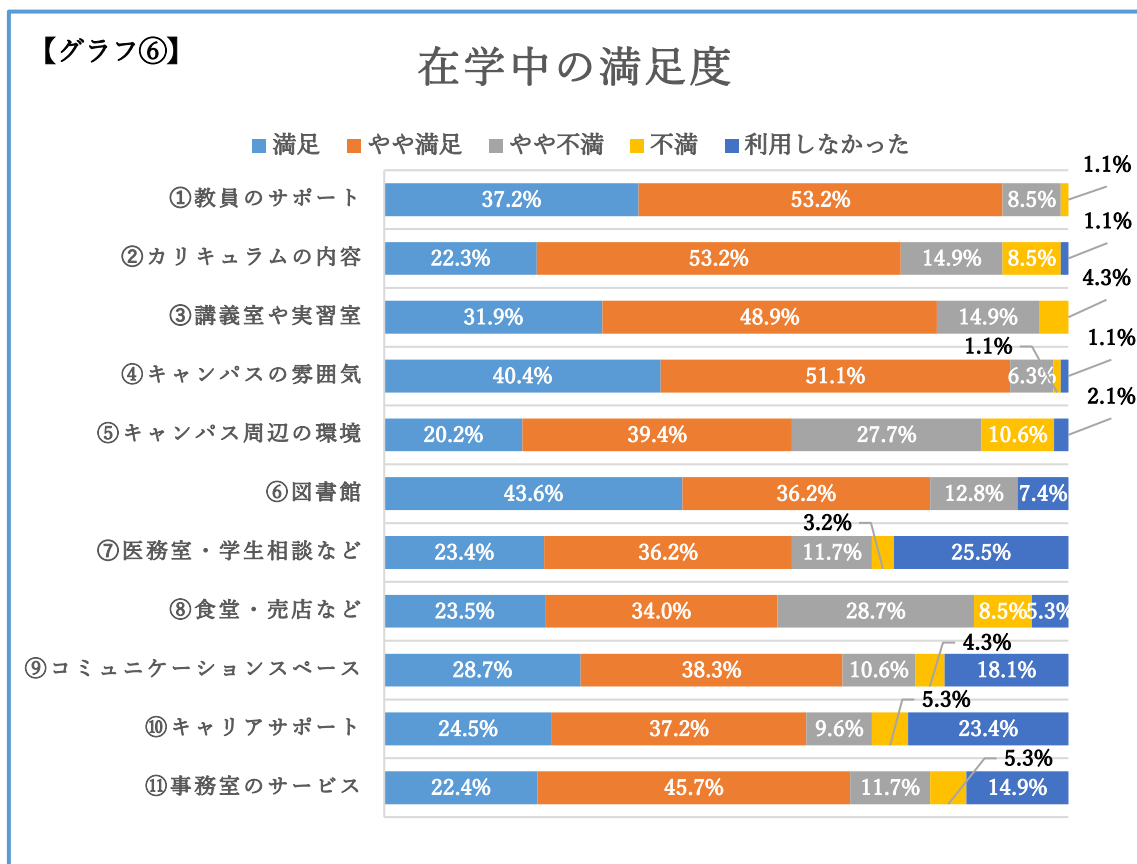
一方で、「精度の高い専門的知識と専門技術」については、全体の26%が「身に付いていない」もしくは「どちらかと言えば身に付いていない」と回答しており、大学としての課題が示された。

3. 大学生活について

1) 在学中の施設・サポート等の満足度について

在学中の施設やサポート体制の満足度をグラフ⑥に示した。

キャンパスの雰囲気に対して、「満足」もしくは「やや満足」の回答が約91%であったのに対し、食堂・売店については約37%の卒業生が何かしら不満に感じていたことが分かる。



2) 大学生活の充実度について

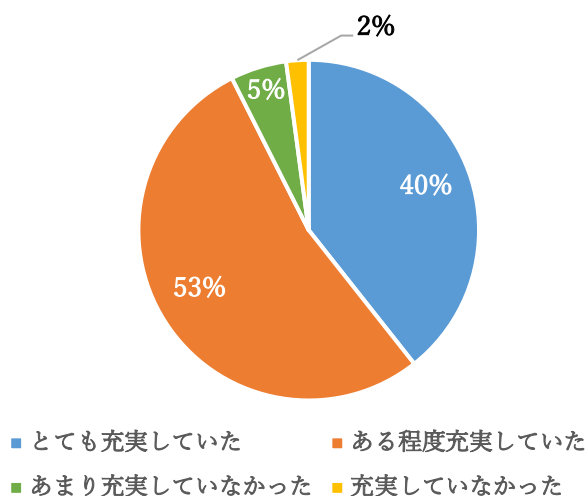
大学生活の全体の充実度をグラフ⑦に示した。

「とても充実していた」もしくは「ある程度充実していた」の割合が約93%であった。

「あまり充実していなかった」と回答した卒業生の意見では、「コロナの影響が大きく実習などが中途半端になって不完全燃焼だったため」等があった。

【グラフ⑦】

大学生活の充実度

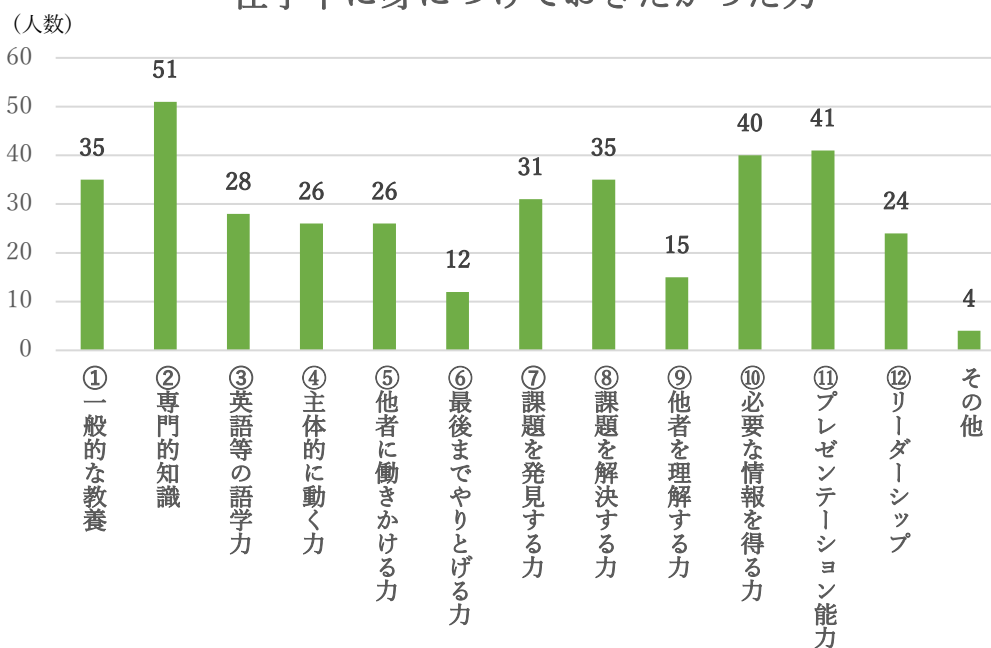


3) 在学中に身につけておきたかった力について

在学中に身につけておきたかった力をグラフ⑧に示した。(複数回答：1人5つまで)
 昨年に引き続き「専門的な知識」が最も多く、次点では「プレゼンテーション能力」が挙げられた。また「その他」では、「ビジネストーク力」や「専門外の知識」等の回答があった。

【グラフ⑧】

在学中に身につけておきたかった力

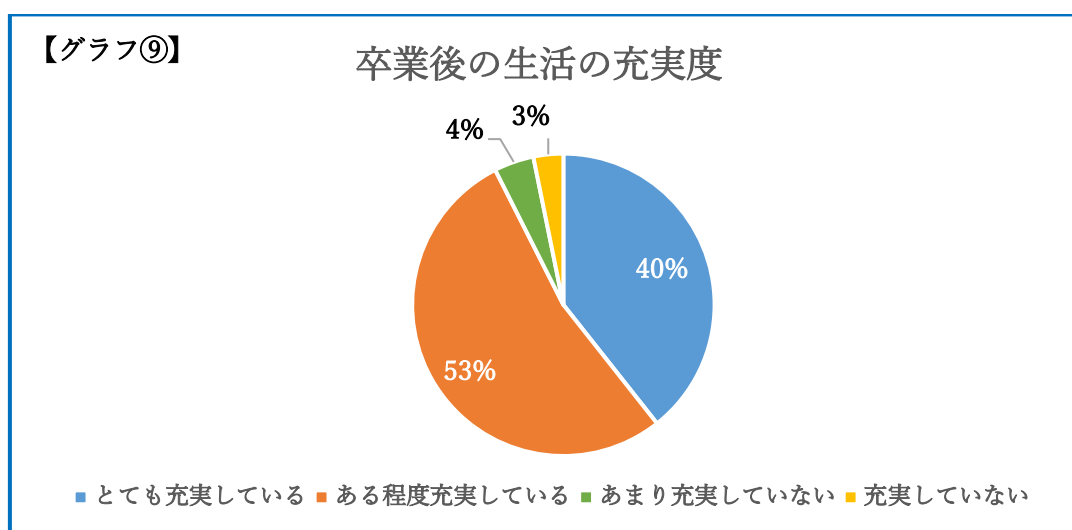


4. 卒業後について

1) 卒業後の生活の充実度について

卒業後の生活充実度をグラフ⑨に示した。

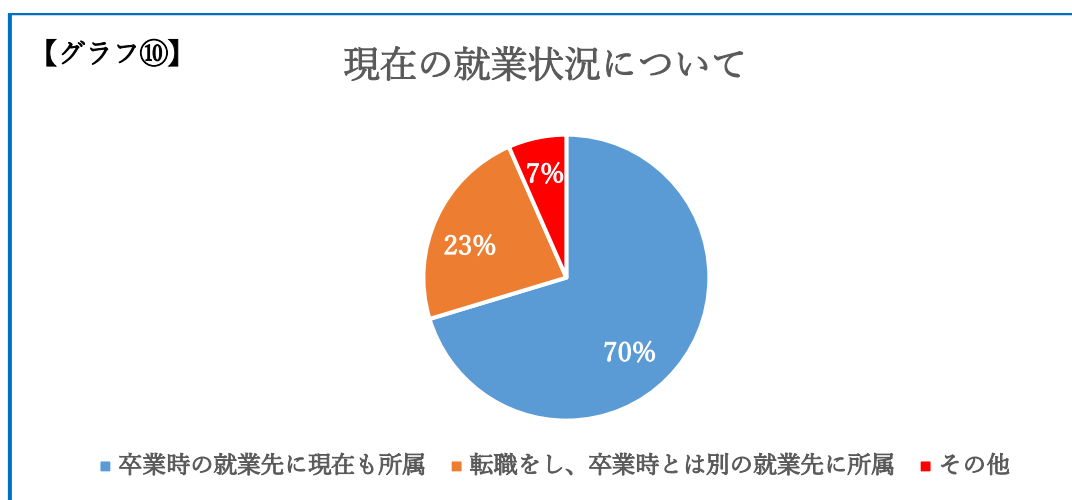
「とても充実している」もしくは「ある程度充実している」の割合が約 93%であった。
「あまり充実していない」と回答した卒業生の意見では、「目標が曖昧で前に進んでいく気がしない」や「思うように仕事ができおらず、期待にこたえられていないため」等があった。



2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況をグラフ⑩に示した。

卒業後と同じ就業先に在籍している卒業生が全体の約 70%を占める結果となった。
その他では、「独立開業」や「自営業」との回答があった。

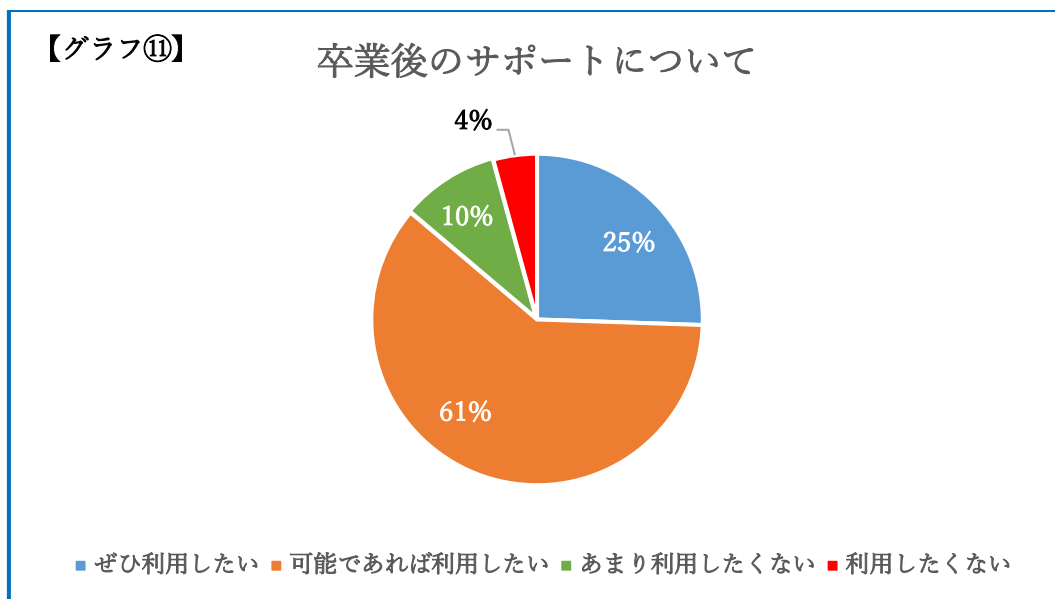


3) 卒業後のサポートについて

卒業後に本学の卒業生向けサポートの利用希望をグラフ⑪に示した。

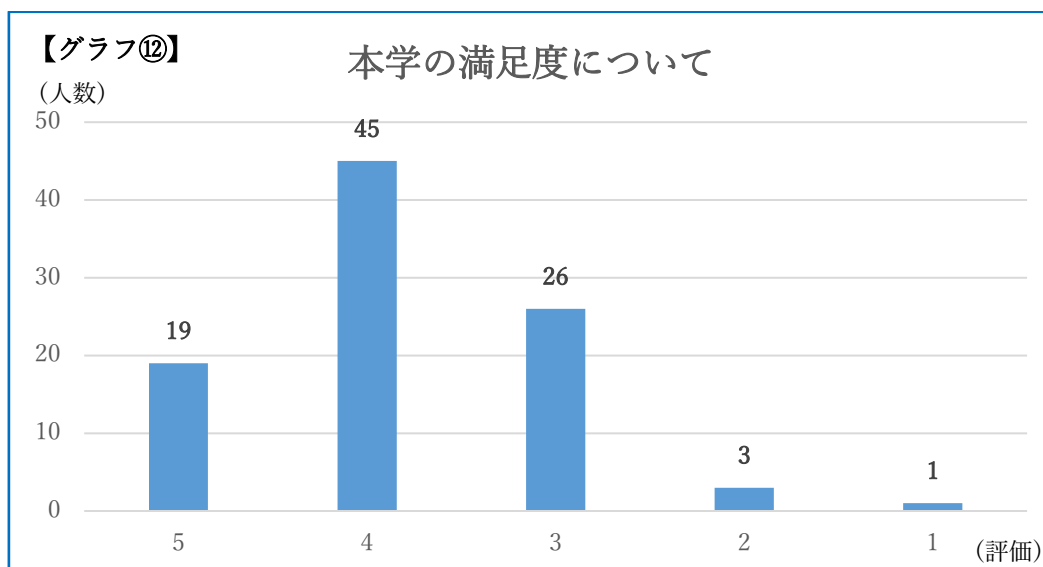
全回答者の 86%が「ぜひ利用したい」・「可能であれば利用したい」と回答した。

実施してほしい内容として「資格取得のための講習会」や「実技講習」、「卒業生同志の情報交換会」、「卒業生と在学生の交流会」、「一般企業に就職した学生へのサポート」、「税金や雇用についての講習会」等の意見があった。



4) 本学の満足度について

卒業後の本学の満足度をグラフ⑫に示した。(満足を 5、不満を 1 とした 5 段階評価)
集計した結果、平均値は 3.8 であった。



以上

2020 年度 卒業生へのアンケート調査結果

学生支援室

【Ⅰ，調査の概要】

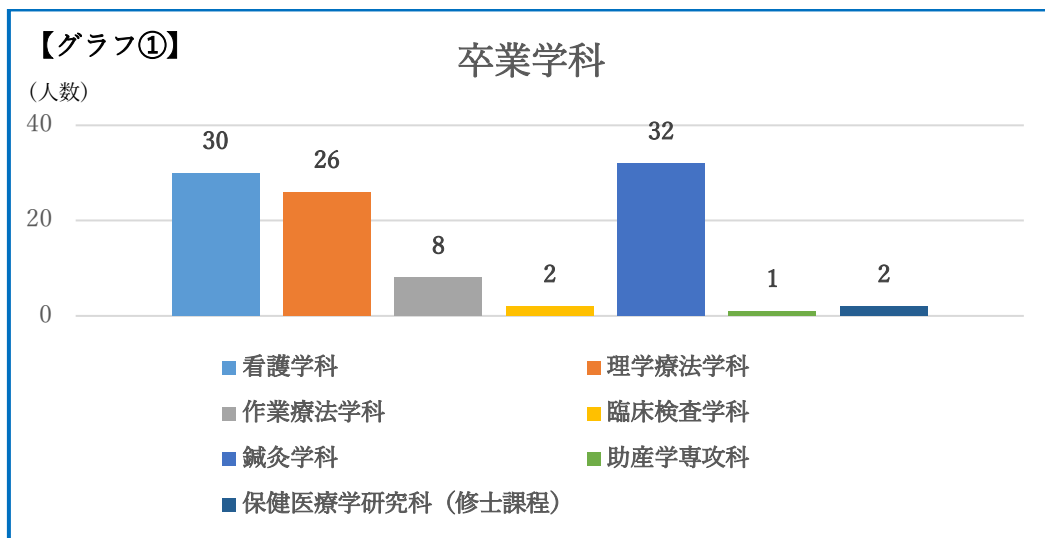
1. 調査対象 2010 年度から 2019 年度までの卒業生 1,536 名
2. 調査期間および方法
2020 年 12 月 8 日～2021 年 2 月 15 日まで。郵送にて調査への協力依頼をした上で、Microsoft のサービスを利用しインターネット上で回答いただいた。
3. 回答者数 101 名

【Ⅱ，結果】

1. 回答者の基本属性

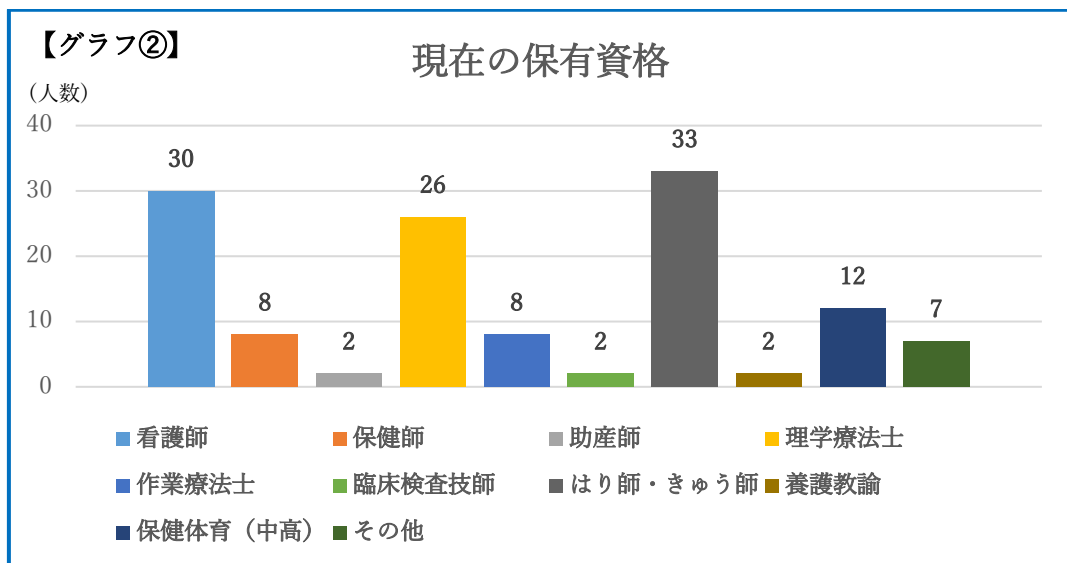
1) 回答者の卒業時の所属学科について

卒業時の所属学科をグラフ①に示した。鍼灸学科卒業生の回答が最も多かった。



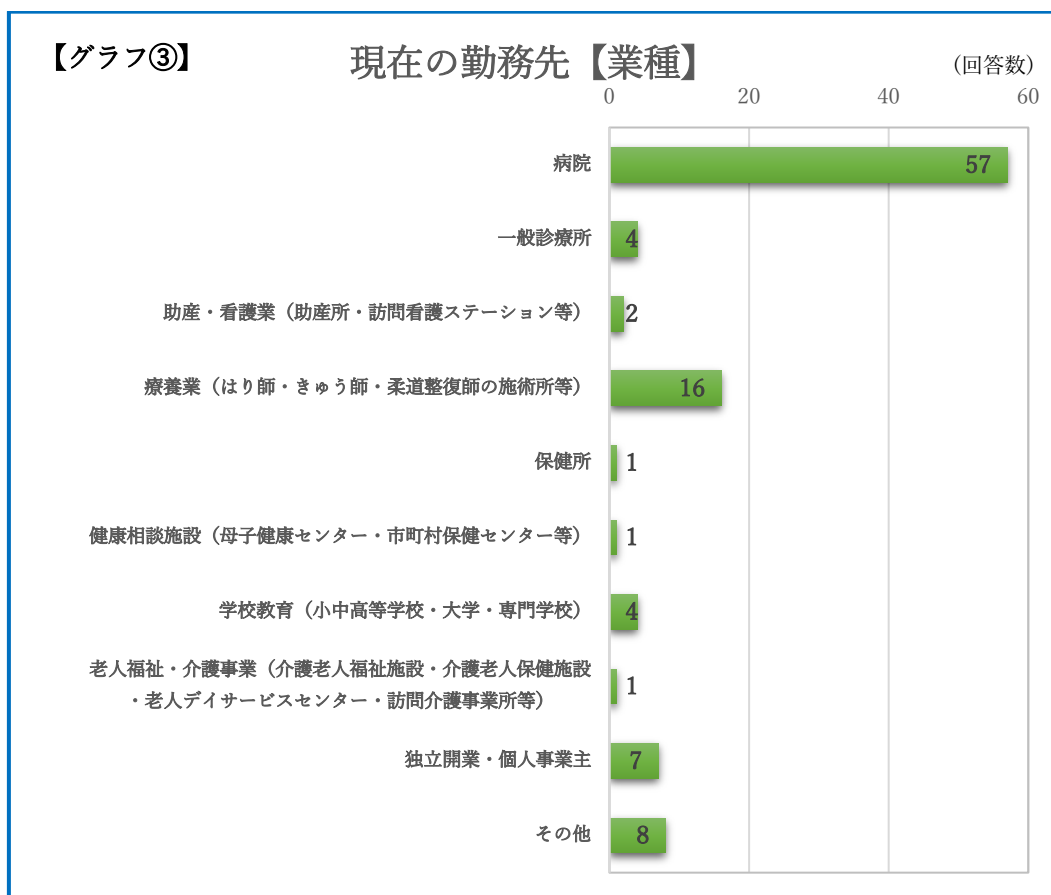
2) 回答者の保有資格について

現在の保有資格をグラフ②に示した。「その他」には柔道整復師、機能訓練士、第一衛生管理者等の回答があった。



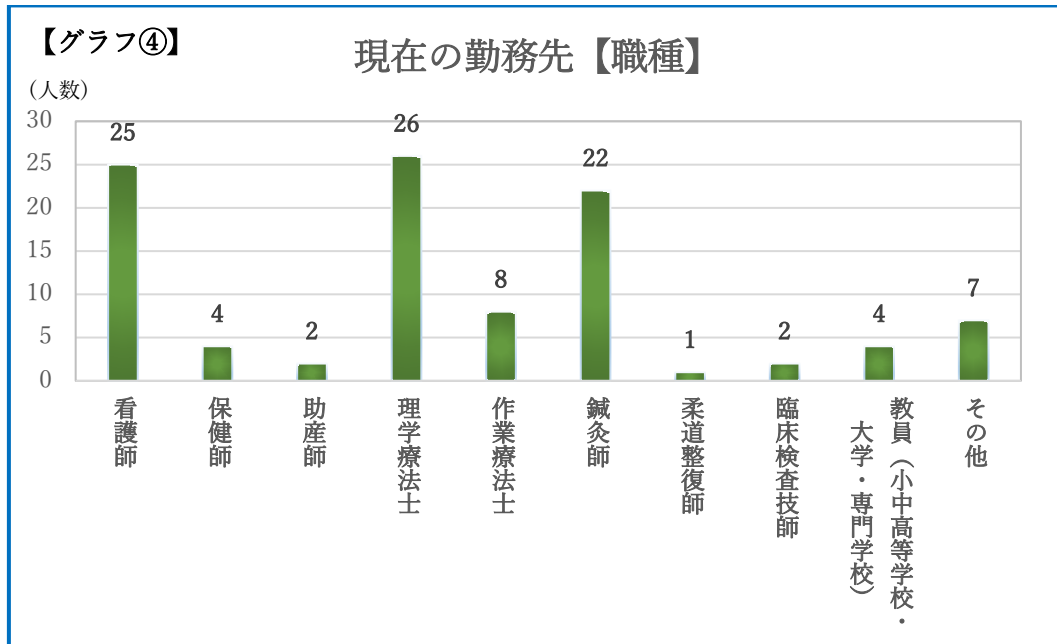
3) 現在の勤務先の業種について

現在の勤務先の業種をグラフ③に示した。病院への就職者が最も多い結果となった。



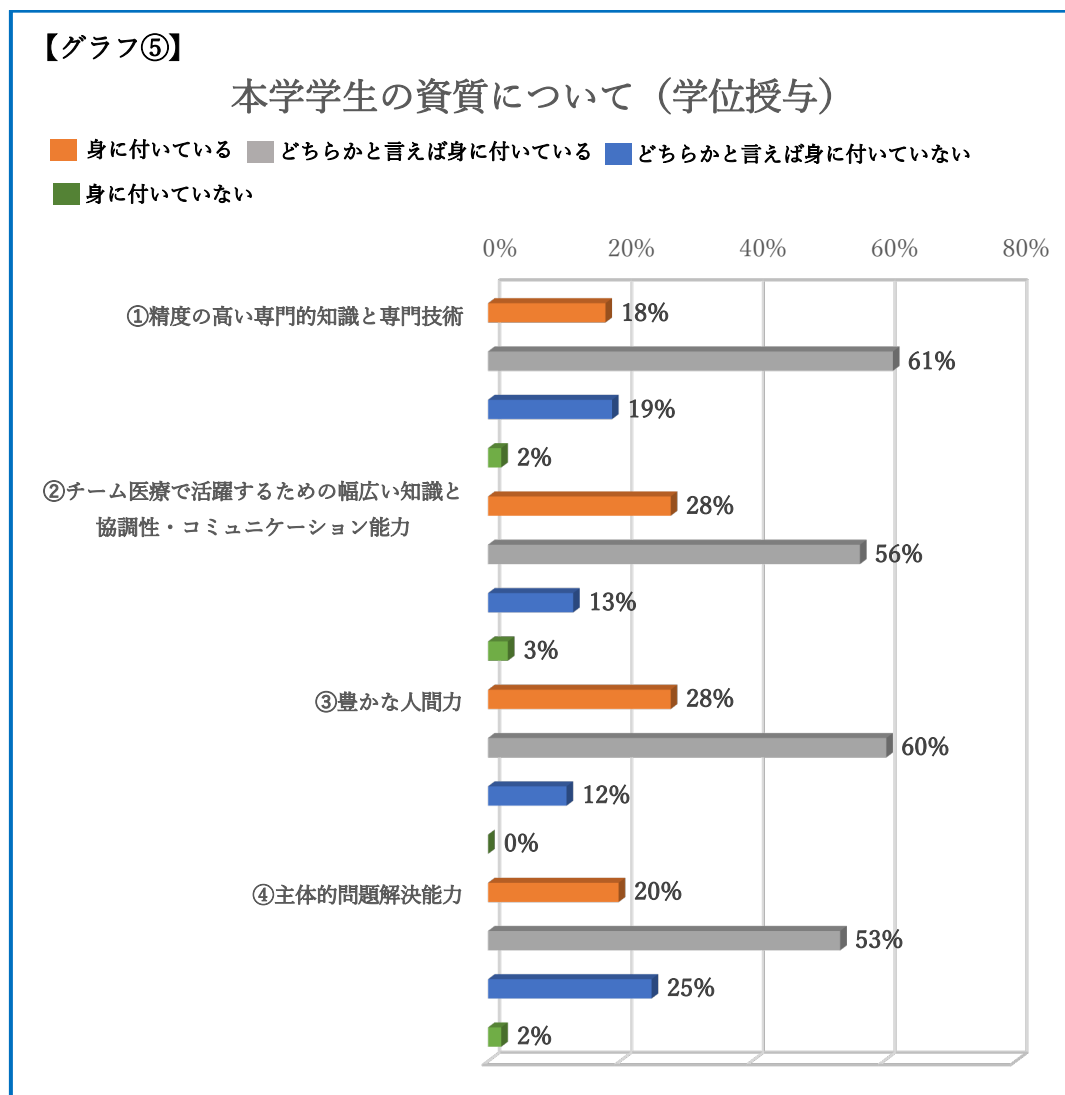
4) 現在の勤務先での職種について

現在の勤務先の職種をグラフ④に示した。「その他」にはエステティシャン、トレーナー、企画マーケティング等の回答があった。



2. 本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について

本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）について、グラフ⑤に示した。



4つの項目の中で、「豊かな人間力」については全体の88%が「身に付いている」もしくは「どちらかと言えば身に付いている」と回答した。

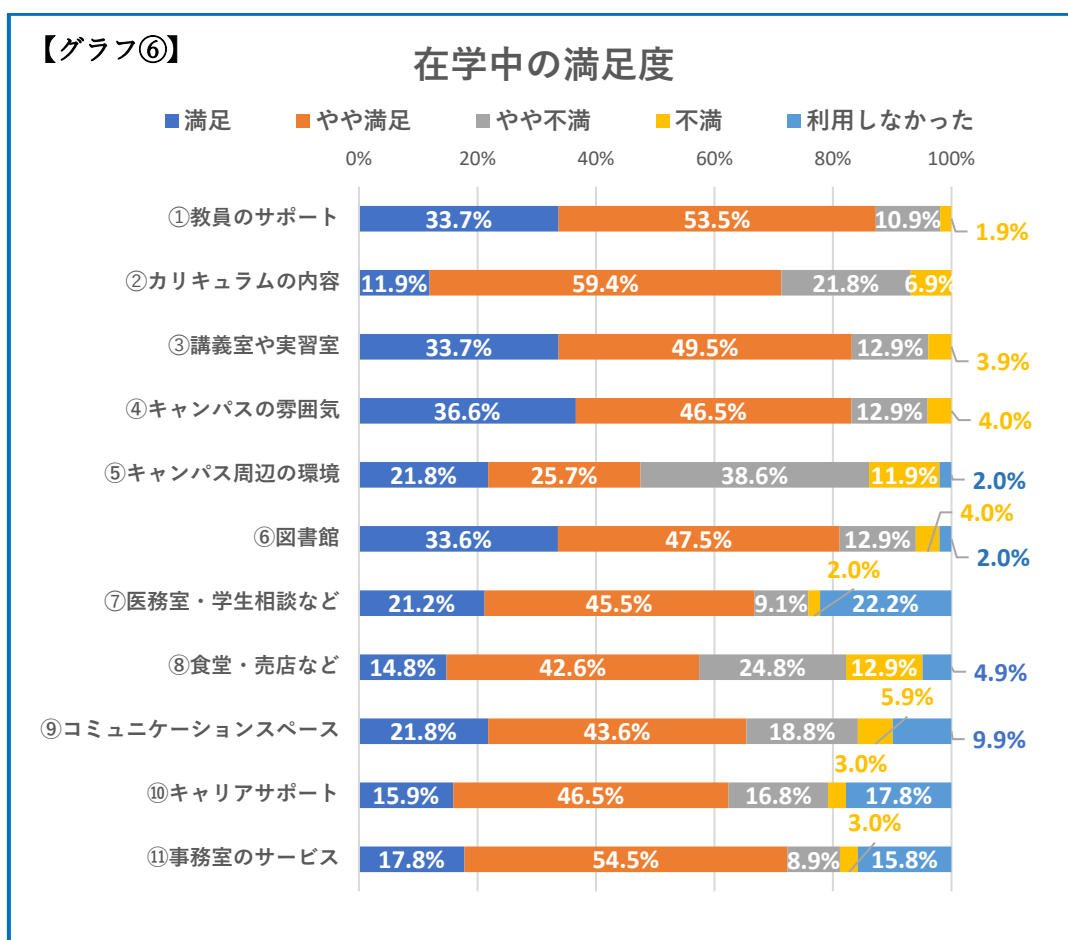
一方で、「主体的問題解決能力」については、全体の27%が「身に付いていない」もしくは「どちらかと言えば身に付いていない」と回答しており、大学としての課題が示された。

3. 大学生活について

1) 在学中の施設・サポート等の満足度について

在学中の施設やサポート体制の満足度をグラフ⑥に示した。

教員のサポート体制に対して、「満足」もしくは「やや満足」の回答が約 87%であったのに対し、キャンパス周辺の環境では約 50%の卒業生が何かしら不満に感じていたことが分かる。



2) 大学生活の充実度について

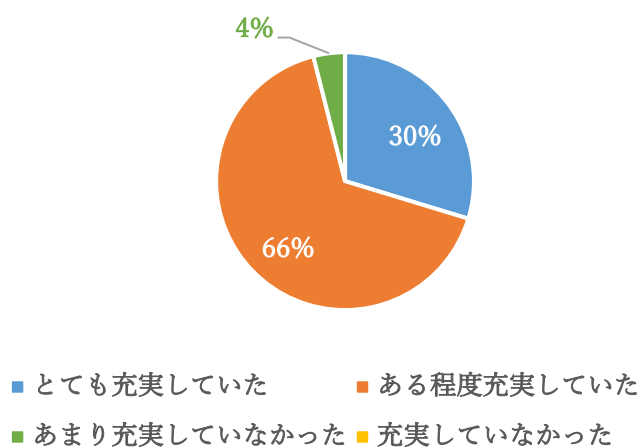
大学生活の全体の充実度をグラフ⑦に示した。

「とても充実していた」もしくは「ある程度充実していた」の割合が約 96%であった。

「あまり充実していなかった」と回答した卒業生の意見では、「学内よりも学外での繋がりが多かったため、学内ではあまり馴染めなかった」等があった。

【グラフ⑦】

大学生活の充実度



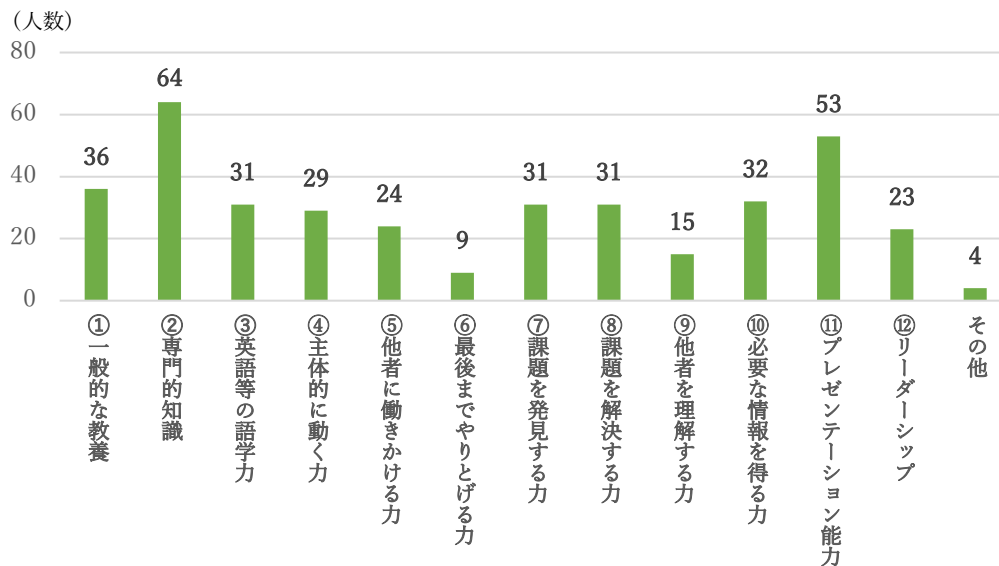
3) 在学中に身につけておきたかった力について

在学中に身につけておきたかった力をグラフ⑧に示した。(複数回答：1人5つまで)

「専門的な知識」が最も多かったが、次点では「プレゼンテーション能力」が挙げられた。また「その他」では、「メンタルケア能力」や「PCに関するスキル」等の回答が見られた。

【グラフ⑧】

在学中に身につけておきたかった力

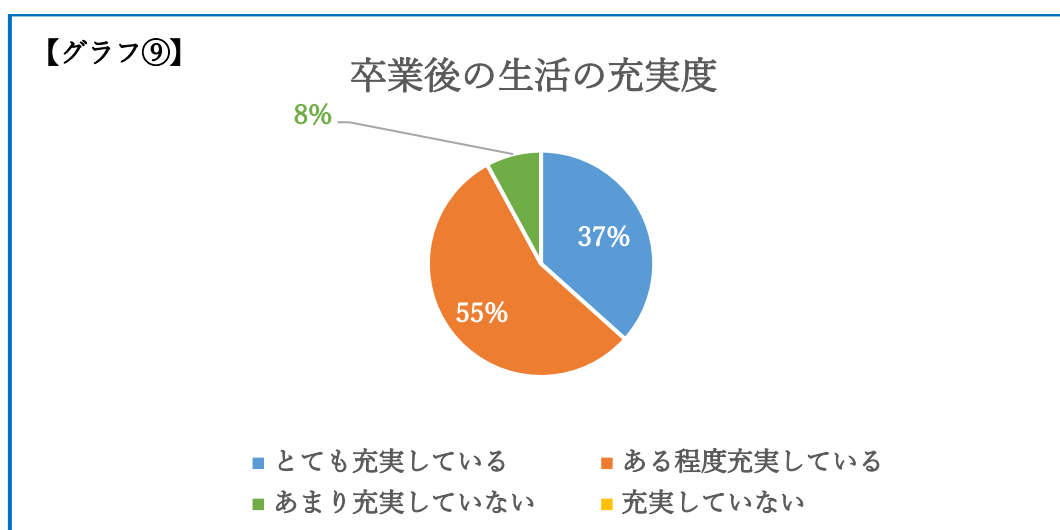


4. 卒業後について

1) 卒業後の生活の充実度について

卒業後の生活充実度をグラフ⑨に示した。

回答者のうち約 92%が「とても充実している」もしくは「ある程度充実している」と答えた。「あまり充実していない」との回答の中には、「理想と現実とのギャップが大きかったため」や「コロナ禍で制約が多く、仕事にやりがいが見いだせない」等の意見があった。

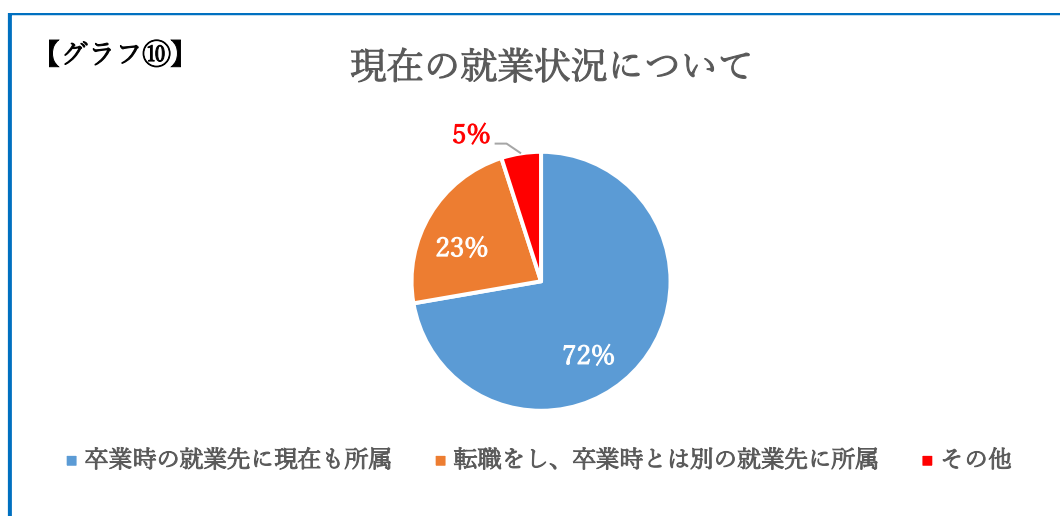


2) 現在の就業状況について

卒業生の現在の就業状況をグラフ⑩に示した。

卒業後と同じ就業先に在籍している卒業生が全体の約 70%占める結果となった。

その他では、「独立開業」や「フリーランス」との回答があった。

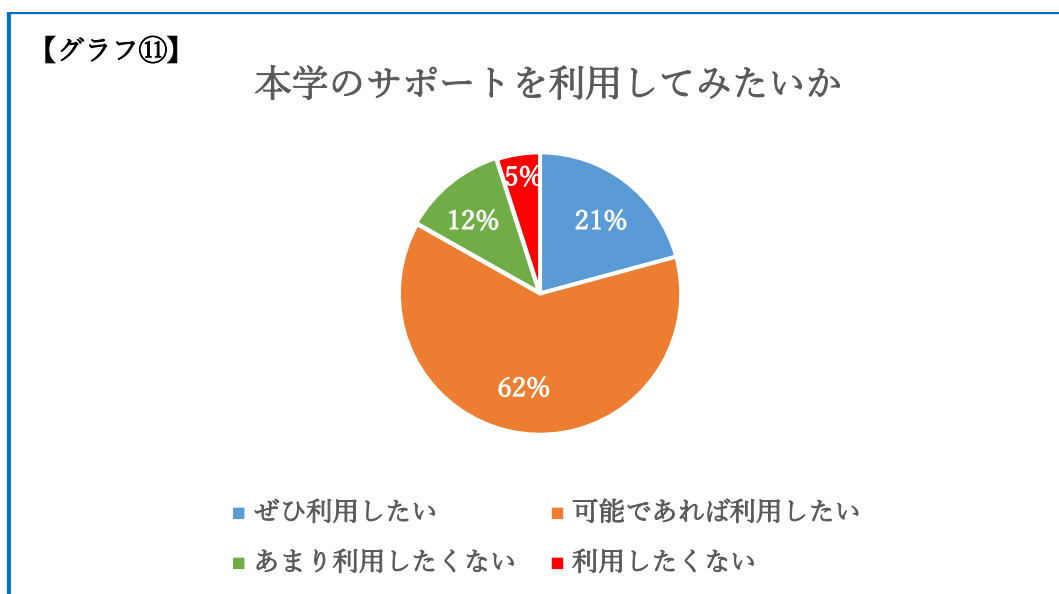


3) 卒業後のサポートについて

卒業後に本学の卒業生向けサポートの利用希望をグラフ⑪に示した。

全回答者の 83%が「ぜひ利用したい」・「可能であれば利用したい」と答えた。

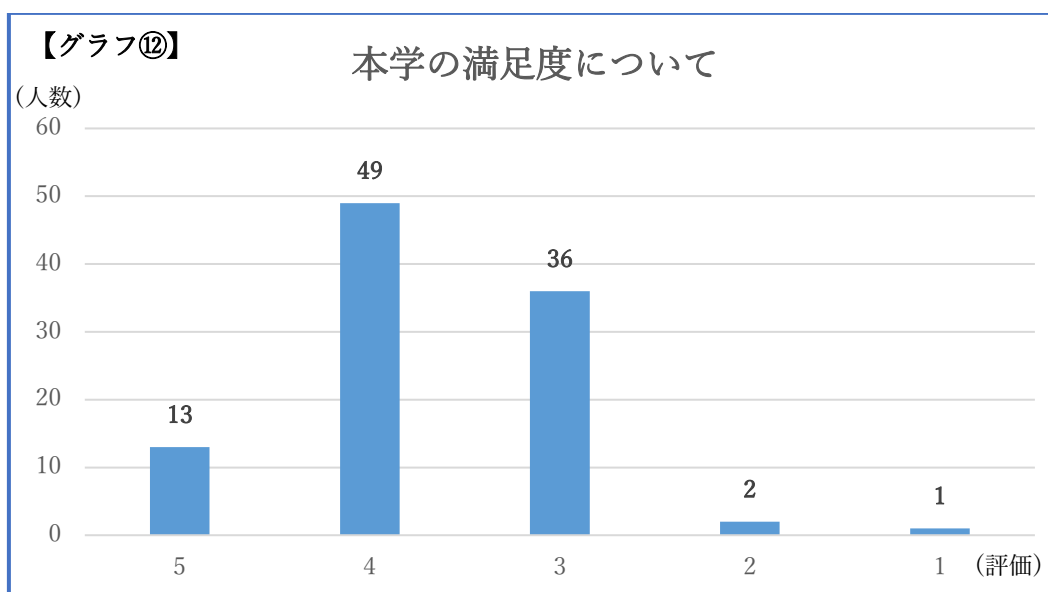
実施してほしい内容として「他業種交流イベント」や「資格取得支援のための講習会」、「各専門分野の勉強会」等の意見があった。



4) 本学の満足度について

卒業後の本学の満足度をグラフ⑫で示した。(満足を 5、不満を 1 とした 5 段階評価)

全体で集計した結果、平均値が 3.7 となった。



以上